一般社団法人映像情報メディア学会

第６８回定時社員総会資料

２０２２年5月２７日(金)１５時～

於　機械振興会館　＋　オンライン

一般社団法人映像情報メディア学会
第６８回定時社員総会式次第

開催日時：２０２２年5月２７日（金）１５：００～１６：10(予定)

会　　場：機械振興会館６階６D-1、2 会議室　＋　オンライン

議　　長：田中孝司会長　　司　　会：石井紀彦総務理事

式 次 第：

① 会長挨拶（田中孝司会長）

② 開会の辞（齋藤英雄副会長）

③ ２０２１年度事業報告審議（石井紀彦総務理事）

④ ２０２１年度決算報告審議（星沢　拓会計理事）

⑤ ２０２１年度監査結果報告（伊藤泰宏監事）

⑥ ２０２２年度役員の選任（岩城正和副会長）

⑦ ２０２２年度事業計画報告（川田亮一総務理事）

⑧ ２０２２年度予算報告（星沢　拓会計理事）

⑨ 選奨選考結果・フェロー認定者発表（石井紀彦総務理事）

⑩ 退任役員代表挨拶（田中孝司会長）

⑪ 退任役員に対する謝辞（岩城正和副会長）

====休憩、この間に臨時理事会開催=====

(総会再開)　　司　会：川田亮一総務理事

⑫ 2022 年度役員担務の報告（岩城正和副会長）

⑬ 新会長挨拶（伊丹　誠新会長）

⑭ 閉会の辞（塩入　聡副会長）

以上

２０２１年度事業報告

１．総括（担当：石井総務担当理事）

本会は，テレビ放送や通信ネットワーク等の放送通信の媒体，情報処理・伝送・撮像・記録・表示のハードウェア・ソフトウェアに関する技術，立体映像やバーチャルリアリティに関する技術，そして映像を中心としたコンテンツの生成と流通に関する学術振興並びに研究開発の発展に貢献する役割を担っています．その目的を達成するため，機関誌，論文集の刊行，年次大会や冬季大会，研究会，講演会等のさまざまな事業活動を行っています．これらの事業活動には，理事会のほか，専門の分野を担当する委員会を設置して学会活動の円滑な運営に努めてきました．

本年度は，2021 年 5 月の総会において，下記の基本施策を設定して学会活動を進めてきました．

(1) 学会の活性化
(2) 新分野の開拓
(3) 広報活動と会員サービスの拡充

2021 年度の終了を迎え，上記の各計画項目の達成状況は以下のようになりました．

＜2021 年度事業計画と達成状況＞

(1) 学会の活性化

事業計画では，「学会運営体制は，17 名の理事を中心メンバーとして目的ごとに設置された委員会を実行部隊とし，理事会との情報共有を密に図りながら活動を進める」というものでした．具体的には 12 の委員会と 2 つの協議会，1 つの WG が中心となって，前年度に取り纏めたアクションプランおよび申継事項をもとに，理事会と各委員会の情報共有を密に図りながら問題解決に取り組んでまいりました．達成状況は以下の通りです．

各委員会が取り纏めるアクションプランについては，解決すべき課題と進捗状況が一瞥して確認できるように書式を簡素化し，全委員会の活動をまとめた年間スケジュール表と共に管理することで活動状況の可視化を図りました．これらの情報は，アクションプランを随時更新しつつ理事会に報告し，2022 年 4～5 月に最終報告と次年度への申継事項にまとめて総括しました．

今年度の理事会は，新型コロナウィルス感染症への対策として主としてオンライン会議で運営することとし，全理事と監事が出席する定例理事会の開催回数も 2020 年度に引き続き 8 回の開催として，効率的な審議を心掛けました．また，リアル開催時にもオンライン化のノウハウを生かし，ハイブリッド開催として，地方の支部長や代表代議員にも参加を呼びかけることで，オープンな議論を促進する効果が得られました．また，副会長と総務担当理事による理事会前の打ち合わせ（総務会）もオンラインで開催することで，円滑な議事進行を実現できました．

学会予算は，年度当初の計画では約 1127 万円の赤字予算でのスタートとなりました．これは会員数減少の影響や，年次大会開催の見送りやテストチャート事業の収入の落ち込みを見込んでのものでしたが，テストチャートの売り上げの予算に対しての伸びや，研究会の有償参加費増などにより，年度当初予想より赤字幅を縮小し，195 万円の赤字に抑えることができました．

学会活性化の最重要課題である会員増強策については，残念ながら会員数減に歯止めをかけることができず，新型コロナウィルス感染症による経済の低迷を反映して，企業が主体の維持会員の口数も微減となってしまいました．一方，アカデミックパートナー制度の活性度は上がってきており，3 月に入り入退会がありましたが、結果的に研究室数も 23 研究室から 24 研究室へ，登録学生数も 204 人から 220 名へと増加しています．さらに，今年度はアカデミックパートナー制度に加入しやすいよう，登録可能学生数が少ない反面，費用が低い LITE 版を新設するとともに，より多くの登録学生数が可能なように EXTENSION 版も合わせて新設しました．これにより，多くの学生を登録して頂き，さらには，この登録学生を社会人となった後の正会員に繋げることが今後の課題となります．

年次大会および冬季大会の非会員の参加者を当該年度に限り準会員として登録する準会員制度による準会員は 34 名いますが，残念ながら正会員に移行した人はいませんでした．正会員に移行して頂けるようプロモーションを継続しています．

本部役員と各支部との対話活動については，定例理事会に支部長や支部長代理の参加を呼び掛けると共に，オンラインで開催となった支部の支部大会に本部役員も参加することで，本部と支部の相互の対話機会を確保して連携を深めました．

本会ならではの取り組みであるテストチャートの頒布事業については， 4K・8K 映像の超高精細・広色域

HDR 版標準動画像(C シリーズ)シリーズの第 2 版（スタジオ撮影分）の頒布が遅れ気味でしたが，2022 年 4 月に配布開始することができました．引き続き，高フレームレート版の標準動画像 D シリーズや 22.2 マルチチャンネル標準音源 B シリーズなど続編の制作検討を継続します．

(2) 新分野の開拓

事業計画は「新しい方面など時流に沿ったテーマのイベントの企画を検討すること」を柱に掲げていました．達成状況は以下の通りです．

2021 年度は 2020 年から延期された東京オリンピック・パラリンピックに代表されるスポーツビッグイベントの年でした．スポーツに関する様々な技術を所掌するスポーツ情報処理時限研究会が 2020 年度で一旦終了しましたが，これからの応用範囲が大きく広がるとの予想から，2022 年 4 月より通常の研究会「スポーツ情報処理研究会」として立ち上げました．

今年度は東京オリンピック・パラリンピック開催による年次大会の見送りにより，冬期大会（12/15(水)～12/17(金)，登録参加者数 288 名）のみの開催でしたが，オンライン開催という制約がある中，「ボリュメトリックスタジオの最新動向」，「ブレインマシンインタフェイス（BMI）の動向」，「放送と通信メディアの視聴動向と放送局のネットサービス」，「MLOps に基づく AI/ML 実運用最前線」，「STEAM 教育の最前線」といった幅広い時流に沿ったテーマの企画セッションに加え，「2020 年度各賞受賞企業による記念講演」を開催しました．さらに，「MLOps に基づく AI/ML 実運用最前線」動画を会員向けに，「2020 年度各賞受賞企業による記念講演」動画を一般公開し，大会終了後でも会員が視聴できるようデモ動画展示という方策により，会員へのサービス向上を図りました．

他学会との連携強化では，日本写真学会・日本印刷学会・日本画像学会・IS&T が共催，本会・日本視覚学会・画像電子学会が協賛の国際会議 ICAI（International Conference on Advanced Imaging）2021(10/4（月）～10/8(金))をハイブリッドで開催する予定でしたが，コロナ感染症拡大のため，全世界対応の完全オンライン開催という形での開催となりました．また，毎年日本国内で米国 SID(Society for Information Display)と共催する国際会議 IDW（International Display Workshops）’21（12/1(水)～12/3(金)）も同様にオンラインでの開催となりました．このほか，電子情報通信学会・電気学会・情報処理学会・照明学会と年 2 回開催している連絡協議会についてもオンラインによる開催を継続し，活発な情報交換を行いました．

海外学会との交流については，新型コロナウィルス感染症の世界的流行による渡航制限のため相互の講師派遣は叶いませんでしたが，映像情報メディア学会冬季大会において韓国放送メディア技術学会（KIBME: Korean Institute of Broadcast and Media Engineers）とのジョイントセッション「KIBME/ITE Joint Session ～AR/MR/XR Technology～」を開催し，今後の映像メディア技術の動向・展望についての意見交換の場を継続することができました．

(3) 広報活動と会員サービスの拡充

事業計画は「ホームページやメーリングリスト，各種 SNS を活用した情報発信は，有効な広報手段として 2021 年度も積極的な活用を図る」というものでした．達成状況は以下の通りです．

当学会のホームページは，今年度も有効な広報手段として活用してきましたが，支部ホームページは HTML ベースでの旧来のものであったので，見やすく，頻繁な情報発信が可能で編集が容易なホームページとして関西支部以外の支部ホームページを Wordpress へと刷新しました．なお，関西支部においてもホームページ制作の契約から 2021 年度の移行はできませんでしたが，来年度での移行を計画しています．また，会員向けメーリングリストは約 3 日に 1 通のペースで情報発信を続け，また，SNS でも会誌特集案内を発信するなど主要な会員サービスとして定着しています．

さらに，冬季大会開催案内や大会終了後の実施記事、テストチャート頒布広告を業界紙に掲載するなど，ターゲットを絞った効果的な広告戦略も引き続き展開しました．

研究会活動に関しては，オミクロン株の広がりから，オンラインでの開催が主となり，年間 49 回の開催予定のうち 1 回をハイブリッドで，残りの 48 回をオンライン開催として実現できました．オンライン研究会は現地での会員同士の交流という点では大きな制約が生じますが，地理的な移動が不要となって気軽に参加できるという利点もあり，会場費の削減と共に参加費有償化による収益を押し上げる効果をもたらしました．

以上の施策を通じて，2021 年度は学会の活性化と新分野の開拓，広報と会員サービスの充実に取り組んできました．新型コロナウィルスの世界的な流行に関しては，ワクチン接種をしても変異株の出現などイタチゴッコが収まらず，研究会活動をはじめ多くのイベントがオンライン化を余儀なくされるなど様々な困難が生じた 1 年でした．しかし，協賛団体と会員各位のご理解・ご協力のもと，計画されていた事業を概ね遂行

することができました．引き続き本会は，ポストコロナの社会情勢に対応しつつ，映像情報メディアに関する技術分野の発展に貢献してまいります．

２．アクションプランの設定内容と達成状況

2021 年度に設置された 11 の委員会のアクションプランの設定内容と達成状況を以下に示します．

① 広報委員会（担当：岩尾企画担当理事）

本部・支部のホームページ運用性改善のため，2021 年 7 月に Wordpress の最新版を導入しました．これに先立ち，アプリの動作環境を整備するため，学会が契約する Web サーバを新規サービスに移行しています．これにより，本部ホームページの運用性や閲覧性の向上に寄与しました．各支部のホームページについても，各支部と連携しつつ，順次刷新作業を進め，2022 年 4 月に新規のホームページに移行しました．また，業界展示会を通じた広報活動として，例年，InterBEE にて本会ブースを設置し，本会の PR を行っておりましたが，新型コロナウィルスの影響により，昨年度に引き続き，本年度も参加を見合わせました．次年度以降，状況に応じて PR 活動の継続を行っていきたいと考えています．

② 年次・冬季大会実行委員会（担当：佐藤調査担当理事）

2021 年映像情報メディア学会冬季大会は，実行委員会（委員長　岩城正和）において 12 月 15 日（水）～ 12 月 17 日（金）の 3 日間の日程で，昨年度の 70 周年記念大会に続きオンライン形式（Zoom 使用）にて開催されました．夏季に東京オリンピック・パラリンピックが開催されたために今年度の年次大会は行わず，冬季大会を例年よりも規模を拡大しての開催となりました．一般講演 23 部門 131 件，フェロー記念講演 5 件の他，企画イベントとして企画セッション 7 テーマ計 29 件で構成され，登録参加者数は 288 人と，ここ 10 年で最多（昨年の学会創立 70 周年記念大会は除く）となり，直近の地方開催の年次大会並みの参加人数となりました．

一般講演は初日午前に 3 セッション，午後に 6 セッション，2 日目は午前に 4 セッション，午後に 4 セッション，3 日目は午前に 2 セッション，午後に 4 セッションが行われました．

関連のある一般セッション中に設けられたフェロー記念講演では，新たに称号が贈呈された 5 名の皆様を講師としてお招きし，映像情報メディア技術の発展に寄与した業績をご講演いただきました．7 テーマの企画セッションは 2 日目の午前を除いた時間帯に設けられました．

セッション配置については，過去の冬季大会，年次大会と同様に各会場の休憩時間をできる限り揃えるとともに同じ部門を連続させるよう考慮しました．

企画セッションにおいても幅広い範囲において最新動向の紹介があり，自由視点映像に関する最新の技術の紹介では，技術を具体的にビジネスにつなげている事例も多数紹介されており，非常に刺激的な内容でした．

大会がリアル（オフライン）開催であれば，優秀研究発表賞と学生優秀発表賞の表彰式が行われる予定でしたが，オンライン開催となり表彰式を行えなかったため，各セッション開始までの休憩時間帯に Zoom 画面上で受賞者の紹介を行いました．

なお，優秀研究発表賞は，2020 年 10 月 1 日～2021 年 9 月 30 日の期間における各研究会での発表から 10 件が選出され，学生優秀発表賞は，2020 年の 70 周年記念大会で発表を行った学生の中から 5 名が選出されたもので，例年通り別途学会誌上での紹介も行われました．

今大会は，新しい分野や新しい視点による企画セッションを多数企画・運営いただいたおかげで，アンケート結果からは参加者の満足度は高かったようです．しかし，前回大会で指摘された「聴講者からの質問がリアル開催と比べて比較的少ない」という傾向は，質問受付方法の工夫（ Zoom） 等の挙手機能やチャットの有効活用，発表中の質問を受け付ける際のインタラクティブ対応）やオンラインであっても闊達な質疑ができるような雰囲気作りなどの模索を行ったにもかかわらず，改善されませんでしたので，次回以降の大会に向け，各セッションあたりの参加者増を目指すとともに，質疑の活性化の方策を検討していく必要があります ．

③ 編集委員会（担当：洗井編集担当理事）

学会員の満足度を向上させる企画作りと情報提供の強化に向けて，定期的に開催される編集委員会および部門委員会で，様々な観点から学会誌の在り方および提供情報内容について検討・議論を行い，施策を進めました．

学会誌が学会員と学会を結ぶ重要な役割を担っていることを鑑み，多様な学会員のニーズに応えるとともに,より充実した情報内容の提供を心がけました.利便性を高めるためWebページからダウンロードによる会誌閲覧を可能にするとともに,メールマガジンによる学会誌目次の配信等を通じて，学会員に対するタイムリーでコンスタントな情報提供を図りました.

＜各部門の検討内容と結果＞

(1)会誌部門

学会誌のページ数を考慮したうえで，会誌アンケート，代議員モニタ，支部長会議，研究委員会等からの要望を汲み取り，学会誌の品質の維持と学会員からのニーズに十分に応えられる会誌作りに努めました．具体的には，特集，技術解説，研究動向，話題，講座等を魅力ある内容とするとともに，記事間のバランスにも配慮した編集方針で運営し，今年度（2021年5月号～2022年3月号）は，特集46編,技術解説や解説記事36編，それ以外にも多数のシリーズ企画を掲載し，タイムリーな情報を学会員に提供しました．学会内の様々な委員会やイベントと会誌の相乗効果によって，学会活性化と学会員の満足度向上に資するよう，昨年度に引き続いて学会内の様々な委員会やイベントと会誌の連動企画を検討しました．今年度は，技術委員会との企画や学会創立70周年記念大会との連動記事を掲載しました．また，学会誌に新しい魅力を加えるべく，新連載講座「量子コンピューティング」を2022年3月号から開始しました．さらに，学会誌の電子化に関して編集委員会委員の意向を把握する目的で，アンケートを実施しました.

(2)海外文献部門

今年度は，海外文献部門委員会は，文献公開用のシステム運用・管理者（部門副委員長）が昨年度からの長期療養のため，今年度も公開作業が出来ず，部門委員会は休会とし，文献調査等の作業は休止いたしました．このため，会誌に掲載の海外文献紹介も休載いたしました．これにより，文献調査方法の見直しを行い，次年度より部門委員会を再開し，文献紹介を会誌に掲載すべく，作業をはじめることといたしました.

(3)ニュース部門

例年どおり，記事選定等をメールで審議しました．また2020年「国際放送機器展見聞記」は機器展がリモート開催となり，取材が充分に出来ないため，掲載は見送りましたが，2021年「国際放送機器展見聞記」は，機器展が現地でも開催されたため，担当者が取材を行い，2022年3月号に掲載いたしました.

④ 論文委員会（担当：橋本編集担当理事）

2021年度の論文委員会の構成は，藤井俊彰委員長（和文論文編集委員会委員長，MTA編集委員会委員長兼務)，和文論文編集委員会副委員長の三ッ峰秀樹委員と安藤慎吾委員，MTA 編集委員会副委員長の河村圭委員と渡部俊久委員，編集担当理事（1 年目）の橋本直己委員，編集長の佐藤真一アドバイザの7名でした．幹事には，三ッ峰秀樹委員が指名されました.

6月の新体制後の委員会では，活動方針，現況把握，特集号の企画などの確認を行うとともに，研究委員会への特集企画提案及びアンケートの依頼や，会員への論文投稿に関するアンケート調査について検討を行いました．また，新たな試となるオリエンテーションミーティングについても日程調整等を行いました.

10月の委員会では，投稿・掲載状況，特集号の企画提案状況の確認を行うとともに，研究委員会への論文特集提案に関するアンケート結果の確認や，論文誌の査読所要期間のホームページ掲載の検討，論文査読スケジュール管理の設定強化を行いました．論文投稿に関するアンケートについても内容と対象者の決定を行いました.

2 月の委員会では，投稿・掲載状況，特集号の企画提案状況の確認を行うともに，論文賞候補として，和文論文・MTA 論文からそれぞれ3 編，合わせて6 編の論文を選定し，選奨委員会へ提出しました．また,・論文特集企画提案の増加に向けたスコープの更新内容について確認を行い，用語の統一などの調整を技術委員会にて依頼しました．さらに，集計された論文投稿に関するアンケート結果を委員会内にて共有しました.

(1)和文論文関係

・2021 年度（2021 年 5 月号～2022 年 3 月号の計 6 号）は，24編の論文等を掲載しました（論文12編，招待論文3編，フィールド論文1編，招待フィールド論文4編（動画付き1編含む)，研究速報2編，特集巻頭言2編).（参考：2020 年度の掲載数は論文20編（招待論文 10編含む)，

研究速報 3編，フィールド論文3編，特集巻頭言3編）
・前年度から企画してきたオリエンテーションミーティングを，2021年6月30日にオンラインで開催しました．
・論文掲載に必要なコストおよび他学会の掲載料を確認し，和文論文誌の掲載料について具体的な値下げ案を想定した改訂案を作成し，検討を行いました．
(2)MTA 関係
・2021年度（2021年7月号～2022年4月号の計4号）は，29編の論文等を掲載しました（論文21編，招待論文5編，特集巻頭言3編）.（参考:2020年度の掲載数は（論文30編，招待論文4 編，特集巻頭言 5編）
・投稿論文の判定内容および判定までに時間を要したことを論文著者様より指摘を受けたため，状況の確認と著者様への対応を行うとともに，査読遅延防止に関する施策について検討を行いました．

⑤ 技術委員会（担当：佐藤調査担当理事）
今期３回オンライン開催し，本会の研究委員会の円滑な運営を図るため，現状と将来方針について審議いたしました．
研究会活動では今年も昨年に引き続きCOVID-19の影響を受けてしまいました．2022年2月，3月については当初現地開催，ハイブリッド開催を予定した研究会が多数ありましたが，オミクロン株の影響によりオンライン開催となりました．昨期やむを得ず中止となった研究会が再開されたことにより開催数は８回増えました．2022年度については，現時点では現地開催（可能であればハイブリッド開催）をベースにほとんどの研究委員会が開催を計画していますが，オンライン開催にも大きなメリットがあり，コロナ終息後は，現地開催，ハイブリッド開催，オンライン開催それぞれメリット，デメリットを比較しつつ，研究会開催形態を適宜選択していくことになります．
スポーツと各種映像情報技術を横断する場となるスポーツ情報処理研究委員会の新設については，技術委員会で委員長就任予定の日体大・角田先生より，提案主旨，取扱分野，研究委員会体制，活動計画の説明がされて，審議の結果，設立を決定し，3月理事会で承認され2022年4月1日より正式に発足することになりました．初年度（2022年度）については，研究会3回（予定6月，12月，2月）と年次・冬季大会への協力（スポーツ情報処理セッション座長手配など）が予定されています．
「立体映像技術研究委員会」については映像技術だけに留まることなく，音響なども取り込んだ分野での活動に枠を広げる必要があるとの理由から「立体メディア技術研究委員会」に名称変更の提案があり，審議の結果，技術委員会として名称変更を決定し，3月理事会で承認され2022年4月1日より名称変更することになりました．今後は，映像技術だけに留まることなく，音響なども取り込んだ分野で関連学会とも連携し活動に枠を広げていくことになりました．
研究会オンライン開催については，参加が容易であるため参加費収入が上回るペースで推移しており，現地参加者もPCとヘッドセット持参でオンライン参加する開催形態（簡易ハイブリッド）についても諸課題（回線品質や声のダブりなど）など含めて継続して検討していくことになりました，
研究会完全電子化（技術報告冊子体廃止）検討については，2022 年度は冊子体作成・送付を継続して，冊子体廃止後に想定されるサービスを，トライアル期間として無償提供する方向で準備を進め， 2023年度から冊子体を廃止することとなりました．2023 年度以降の料金設定は，2022年度内に，トライアルの利用状況，技報関連予算収支状況などに基づき検討し決定する予定です．

⑥ 選奨委員会（担当：石井総務担当理事）
学会選奨規程に基づき丹羽高柳賞については，功績賞2名，業績賞なし，論文賞3編，鈴木記念奨励賞については5名を選考しました．技術振興賞については，進歩開発賞（現場運用部門）3件，進歩開発賞（研究開発部門）2件，コンテンツ技術賞2件，映像情報メディア未来賞1件を選定しました．
昨年度申継事項への対応として，功績賞，業績賞候補推薦者が毎年少ないため，各委員からの予備推薦をお願いし，応募者数の増加を図りました．また，鈴木記念奨励賞候補者の過去授賞歴確認やGoogleフォームを用いた投票時の方法改善，事前送付PDF資料の画質改善，オンライン開

催時の課題であった動画再生などは，事務局による事前準備を入念に行ったことで，概ね円滑かつ公平な審査が実現できました．一方，「技術振興賞進歩開発賞，技術振興賞コンテンツ技術賞，映像情報メディア未来賞の３分野への応募内容については，それぞれ他の分野への応募がよりふさわしいと考えられる例があり，応募者との調整を図る」という申継事項に関しては事前に十分なチェックができなかったため，本年も「他賞への応募が最適」と指摘される例がいくつか見られました．この点は再度，次年度に申し継ぐこととしました．

⑦ フェロー選定委員会（担当：川田総務担当理事）

フェロー選定委員会では，前年の申し継ぎ事項として検討課題となっていた点についてまず検討を行いました．すなわち，課題として，フェロー選出規程第１３条第３項「フェローの総数は，正会員および名誉会員の合計数の５％相当を上限とする.」とあるところ，2021 年 9 月 9 日現在の正会員および名誉会員の総数は 2341 名であり，この 5%は 117 名ですが，すでにフェロー総数が 125 名と本規程に抵触していました．そこで今後のフェロー制度の運用について検討を行いました．

その結果，同規定を見直してフェローの総数規定を廃止し，同条第 1 項「単年度に選出されるフェロー会員の数については，正会員および名誉会員の合計数の 0.2%程度を上限とする.」に従うこととしました．

これにのっとり，2022 年は，フェロー3 名を選出しました．昨年に引き続き，第 1 回，第 2 回，第 3 回フェロー選定委員会ともに新型コロナウィルスの影響によりオンラインの開催となりました．

なお，IEEE Japan Council より，IEEE/ITE 間のフェローの相互推薦について打診があり，委員会の中で意向をヒアリングしています．

⑧ テストチャート委員会（担当：佐藤調査担当理事）

「4K8K 版 C シリーズ第２版」を 2022 年 4 月にリリースしました．テストチャート頒布事業は，学会の財政面からも非常に重要な事業であり，「Ｃシリーズ購入者」に継続して新シリーズの頒布について割引頒布の周知を行いました．今後，新規購入者向けの広告宣伝を行う予定です．ARIB 評価シーケンス作業班，ARIB 音声作業班と連携して検討を進める予定です．

また，高フレームレート HFR 版標準動画像 D シリーズ【4K8K・D シリーズ(HFR 版)制作検討】については制作手法について，ニーズのヒアリングを継続していますが，民放局間では HFR 版への需要は低いため，2022 年度は引き続きニーズの調査に留める予定です．

また，22.2 マルチチャンネル標準音源 B シリーズ【3D 音源 B シリーズ制作検討】の制作について，ニーズのヒアリングを継続し，必要に応じ体制を構築し，制作スケジュール等の計画を策定した上で推進する予定です．

⑨ 国際会議検討委員会（担当：岩尾企画担当理事）

国際会議の企画運営や国際間相互協力等に関する国内外の関連学協会との関係構築と維持を行うことを通じて，本会の活性化や会員サービスの向上につとめました．2021年10月4日～8日にオンラインで開催されたICAI2021(International Conference on Advanced Imaging)（日本画像学会,日本写真学会,日本印刷学会他)では，本会企画セッション「8K Technology and Applications」にて3件の講演を実施しました．海外学会との連携では，韓国放送メディア学会(KIBME:The Korean Institute of Broadcast and Media Engineers)との協力を行い，KIBME2021秋季大会ではオンラインにて基調講演を実施した他，本会冬季大会（2021年12月15日～17日 オンライン開催）にて，「KIBME/ITE Joint Session ～AR/MR/XR Technology～」と題したセッションを企画し，KIBME，本会各々から4件の講演を実施しました．

⑩ 映像情報メディア発展事業資金運営委員会（担当：星沢会計担当理事）

本委員会では、①国際学会における学生発表の資金援助、②映像情報分野の発展に貢献できる企画への資金活用、③他委員会と連携した映像情報メディア発展事業に寄与する施策検討、を課題とし、活動を計画しておりました．しかしながら，昨年度同様 2021 年度においてもコロナ禍により，映像情報メディア発展に寄与する活動が制限され，資金を活用する機会もほとんどなく，資金活用の申請も１件に留まりました．

・委員会活動
- 2022 年 1 月 14 日に事務局より以下内容の映像情報メディア発展事業資金利用申請があった旨の連絡を受領，1 月 24 日を締切としたメール審議を実施.
- 反対意見はなく，本利用申請を承認.
- 1 月 26 日 第 5 会理事会にて本利用申請の承認を報告.

・資金利用申請／活用内容
事業名：映像情報メディア学会関西支部　優秀論文発表賞
申請金額：17,248 円（副賞授与に要する費用補填）
期待される効果：映像情報メディア学会の発展に寄与する論文の講演発表を表彰することで，当学会に対する理解と活動促進が図られ，且つ学生や社会人の学会加入の促進が期待できる.

次年度委員会には，①の継続はもとより，With コロナを想定した②，③の施策を他委員会と連携して検討していただくことを期待する.

⑪ 長期計画検討委員会（担当：石井総務担当理事）
本委員会では，日本における少子高齢化や本会と関連の深い産業界の動向などの社会情勢の変化，学会の財政状態や会員数の推移などの状況を踏まえて，長期的視点から学会活動の方針を検討し,理事会に対し,課題解決に向けた実行を促すことで，学会の維持発展に寄与する活動を行っています.
2021 年度は，申継事項として挙げられた以下の項目に対応しました.
・電磁的手段による理事会決議に関する事務処理要領の策定に関するもので，2021/5/11 業務監査にて，早急に策定するよう指摘を受け，メール審議による理事会決議を行う場合の取り扱いについて必要な事項を明記し，理事会承認を得て策定しました.
・12 月開催予定の「2021 年冬季大会」において大会参加者へのアンケートを実施し，参加した企画セッション名，一般講演名やそれらの満足度，次回大会への参加意思，改善点などを記入して頂き，次回以降の開催の参考としました.
・終身会員制度について，2017 年度に「ライフメンバー制度」という名称で提案がなされており，この制度の検討をおこないました．終身会員制度提案の骨子は，IEEE Life Member 制度，または電子情報通信学会終身会員制度をモデルに提案されており，定年退職などの理由による退会を防止する効果が期待でき，ひいては会員数増大への具体策検討に深く関わるものです．一方，当会には，既に，在会年数，年齢にもとづく年会費無料制度，年会費減額制度（エグゼクティブ会員制度）があるため整合性を考慮する必要があります．そのため，現行制度と提案制度の比較表を作成するなど，継続して検討していく事としました.
引き続き，映像情報メディア学会の長期課題抽出と対処計画に向けた整理を行いながら，当委員会を長期的な学会運営の方向性を議論する場として活動を継続する予定です.

２０２１年度事業報告の附属明細書

１．会員数の異動（２０２２年３月３１日現在）

注：同日付退会者を「退会」に含む，同日付資格喪失者を「資格喪失」に含む

	名誉会員	正会員	学生会員 (内ｱｶﾃﾞﾐｯｸ学生)	維持会員	特殊会員	準会員	合計
2021年4月始	４７	２３１９	２３６ （２００）	１７８（８８４口）	３６	２０	２８３６
入会（変更） 退会（死亡） 復会 資格喪失	－４	６３ －１８２ －２２	５３（２２） －３３（－１２）	２（２口） －８（－３７口）	－３	１４ －２０	１３２ －２５０ －２２
増減	－４	－１４１	２０	－６（－３５口）	－３	－６	－１４０
2022年3月末	４３	２１７８	２５６ （２１０）	１７２（８４９口）	３３	１４	２６９６

＊アカデミックパートナー登録研究室：２４研究室

２．機関誌，論文集，英語論文誌，研究会資料などの刊行（定款　第４条（１））

（１）会誌関係

編集委員会（編集長　佐藤真一）において，「映像情報メディア学会誌」第75巻第3号通巻836号～第76巻第2号通巻841号の計6号を，隔月（奇数月）1日に，年間計18,550部発行し，会員に配布しました．

今期の編集関係会議は，定例編集委員会として，企画委員会を7回，年次企画委員会を3回（コロナウイルス感染予防により,すべてリモート会議）開催いたしました．

海外文献部門委員会は，文献公開用のシステム運用・管理者（部門委員長）が昨年度からの長期療養のため，今年度も公開作業が出来ず，部門委員会は休会とし，文献調査等の作業は休止いたしました．このため，会誌に掲載の海外文献紹介も休載いたしました．これにより，文献調査方法の見直しを行い，次年度より部門委員会を再開し，文献紹介を会誌に掲載すべく，作業を開始いたします．

ニュース部門委員会は，例年どおり，記事選定等の審議はメール審議で行いました．また2020年「国際放送機器展見聞記」は機器展がリモート開催となり，取材が充分に出来ないため，掲載は見送りましたが，2021年「国際放送機器展見聞記」はオンタイム開催となり，担当者が取材を行い，2022年3月号に掲載いたしました．また企画委員会には，海外文献部門・ニュース部門の部門委員長も参加し，会誌部門・海外文献・ニュース部門の3部門間での情報共有を密に行い，一般読者にもわかりやすく魅力ある会誌の編集に努めました．

今年度特集は，1ないし2テーマで企画し，ページ数を厳守しつつ，タイムリーでホットな情報提供をいたしました．また冬季大会や研究会で発表される最新情報の提供を行うべく，大会企画セッション、特別講演などから企画をピックアップし，特別寄稿、解説記事に掲載を行いました．さらに記事内容の理解度を深めるため，図のモノクロ掲載を推奨しつつ，作成費を考慮しながら，必要に応じ図のカラー掲載をいたしました．

①J-STAGE を介したオンラインジャーナルについて

会誌冊子体部分も，継続して発行後２ヵ年を経て、全文公開を行います.

②「ベストアーティクル賞」および「ベスト動画コンテンツ優秀賞」の選定について

会誌１月号～11 月号に掲載の記事を対象に,会誌アンケート結果の得票数を基に割り出した評点により,両賞ともに一次選考を行いました．選考により，ベストアーティクル賞は,各号ごとに上位３件程度（同得点の場合は考慮）の 21 件を，ベスト動画コンテンツ優秀賞は，上位４件（例年上位３件を二次選考対象としているが，今回は３位と４位の得点が僅差のため、上位４件）を二次選考対象とし，企画委員会メンバーにより二次投票を行いました．その結果，ベストアーティクル賞は次の５件，ベスト動画コンテンツ優秀賞は次の１件を選定いたしました．受賞者にはオリジナル図書カードを進呈するとともに，会誌，ホームページ上で公表しました.

〔ベストアーティクル賞〕

・１月号＜特集＞「VVC (Versatile Video Coding)」
「1. Versatile Video Coding の概要」(シャープ　猪飼知宏氏・中條　健氏)

・３月号＜特集 B＞「空中ディスプレイ」
「3-3 空中ディスプレイとハプティクス」(東京大学　藤原正浩氏)

・７月号＜特集＞「オンラインによる知覚認知実験」
「1. オンライン視知覚実験の現状と課題」(中京大学（現立命館大学　高橋康介氏・氏家悠太氏)

・９月号＜特集＞「映像情報処理のための高性能計算基盤」
「3. 高効率な深層学習処理のためのカスタムハードウェア技術」(東京大学　高前田伸也氏)

・11 月号＜ベンチャービジネス＞
「(第 17 回) 言語の壁を超えた先にあるエンターテインメントの未来」
(Mantra　日並遼太氏)

〔動画コンテンツ優秀賞〕

・３月号＜特集Ｂ　空中ディスプレイ＞
「3-1 空中像インタラクション」(電気通信大学大学　小泉直也氏)

③海外文献部門委員会

文献公開用のシステム運用・管理者（部門委員長）が昨年度からの長期療養のため，今年度も公開作業が出来ず，部門委員会は休会とし，文献調査等の作業は休止いたしました．このため，会誌に掲載の海外文献紹介も休載いたしました．これにより，文献調査方法の見直しを行い，次年度より部門委員会を再開し，文献紹介を会誌に掲載すべく，作業を開始いたします.

④ニュース部門委員会

例年どおり，記事選定等の審議はメール審議で行いました．また 2020 年「国際放送機器展見聞記」は機器展がリモート開催となり，取材が充分に出来ないため，掲載は見送りましたが，2021 年「国際放送機器展見聞記」はオンタイム開催となり,担当者が取材を行い,2022 年 3 月号に掲載いたしました.

⑤その他の新しい試み

(a) ＜講座＞「量子コンピューティング」の連載を 2022 年 3 月号より開始しました.

(b) 今年度も総務省関連の記事を年１～２件を目途に企画しました.引き続き総務省関連記事の企画を行います.

(c) 選奨受賞関連記事の企画について
丹羽高柳賞＜功績賞＞,＜業績賞＞の受賞者および本年度フェローに認定された方からの「会員へのメッセージ」を 9 月号に掲載しました．今後も引き続き行います.

(d) 大会との連携を目的に，2021 年冬季大会＜企画セッション 7＞「STEAM 教育の最前線」において,萩原丈博（ソニー）氏に講演いただいた「～生活に身近なプログラミング～IoT ブロック「MESH」の STEAM 教育活用」と伊藤尚未（メディアアーティスト）氏にご講演いただいた「メディアアートにできること～ワークショップの現場から～」を,2022 年 11 月号＜特別寄稿＞で企画することといたしました.

(e) 「映像情報メディア年報 2021 シリーズ」について

9の研究委員会により，2021年1月号から連載企画を開始し，2022年7月終了予定．また「映像情報メディア年報2023シリーズ」も連催企画をすることといたしました．

(f) 学会ＨＰでの全文公開について
アクセス制限なしで＜知っておきたいキーワード＞＜年報＞＜きらり。中のヒト＞＜研究開発ツール＞＜話題；見聞記＞＜報告＞＜ベンチャービジネス＞の各欄を，学会ＨＰに全文公開いたしました．今後も継続いたします．

(g) 研究委員会，支部との連携強化をはかるため，会誌企画は例年通り各研究委員会および各支部にテーマの提案をお願いしました．今年度は研究委員会題目提案3件、支部題目提案4件を会誌に掲載いたしました．今後も引き続き提案依頼を行います．

⑥2021年5月号～2022年3月号の特集のテーマとそのページ数

月　号	欄　　名	テ　　ー　　マ	編数	頁数
2021. 5	特　　集	ニューノーマルに向き合う映像情報メディア技術	6	30
2021. 7	特　　集	オンラインによる知覚認知実験	4	23
2021. 9	特　　集	映像情報処理のための高性能計算基盤	4	22
2021. 11	特　　集Ａ	コロナ禍におけるオンライン授業，オンライン研究会	6	30
	特　　集Ｂ	映像情報メディアの発展を支えるイメージセンサ	5	32
2022. 1	特　　集Ａ	コロナ禍における番組制作体制と視聴者動向	4	21
	特　　集Ｂ	鉄道を支える映像情報技術	6	36
2022. 3	特　　集Ａ	2021年“熱かった夏”を振り返る ～スポーツビッグイベントの放送対応～	7	33
	特　　集Ｂ	イメージセンサ技術の最新動向	4	27

⑦2021年5月号～2022年3月号の講座，てれび・さろん等のシリーズ連載テーマ

月　号	欄　名	連　載　テ　ー　マ	掲載回数	連載時期
2021. 5, 7, 9, 11 2022. 1	講座	データセンターのインフラ技術	全　6回	2021年3月から継続 2022年1月終了
2022. 3	講座	量子コンピューティング	全　6回	2022年3月から開始 2023年1月終了予定
2021. 5, 7, 9, 11, 2022. 1, 3	映像情報メディア年報2021シリーズ		全10回	2021年1月から開始 2022年7月号終了予定
2021. 5, 7, 9, 11 2022. 3	てれび・さろん	知っておきたいキーワード	全145回	2006年 6月から開始
－		私の研究開発ツール	全110回	2007年 7月から開始
－		名誉会員からのメッセージ －次代を担う若者に向けて－	全29回	2008年 8月から開始
－		標準化現場ノート	全41回	2010年 4月から開始
－		メディアウォッチ	全28回	2012年 1月から開始
2021. 5, 7, 9, 11, 2022. 3		きらり。中のヒト	全5回	2021年 5月から開始
2021. 9, 11		異業種での映像情報メディア	全37回	2015年 1月から開始
－		私の日本滞在記	全23回	2015年11月から開始
2021. 5, 7, 9, 11 2022. 1, 3		思い出の1枚	全29回	2017年1月から開始
2021. 5, 7, 9, 11 2022. 1, 3		研究ハイライト	全25回	2017年3月から開始
2021. 5, 11		ベンチャービジネス	全17回	2018年1月から開始

⑧2021 年 5 月号～2022 年 3 月号の会誌各欄のページ数

欄　　名	頁数	欄　　名	頁数	欄　　名	頁数
年頭インタビュー	11	話　題；見聞記	15	ベンチャービジネス	15
ふぉーかす	5	講　座	38	メディアウォッチ	0
お祝い文	0	年報シリーズ	41	報　告	31
追悼文	3	名誉会員からのメッセージ	0	ニュース	21
受賞者・役員紹介	10	私の研究開発ツール	0	海外文献収録	0
目　次	18	知っておきたいキーワード	16	学会からのお知らせ	46
特別寄稿	12	標準化現場ノート	0	学会だより	14
講　演	0	キラリ。中のヒト	17	総目次	7
特集本文	254	異業種での映像情報メディア	9	論文目次	6
技術解説	37	私の日本滞在記	0	英語論文目次	4
研究動向	7	思い出の 1 枚	6	合　　計	709
話　題	12	研究ハイライト	54		

注）他に，「新刊図書」3 冊，「広告」10.5 頁，「カタログ同封サービス」1 件．「技術資料」0 頁，「メールニュース広告」配信 0 回，「バナー広告」0 件．

（2）論文関係

論文委員会（委員長　藤井 俊彰）において，「和文論文誌」第 75 巻第 3 号～第 76 巻第 2 号の計 6 号と，「ITE Transactions on Media Technology and Applications」を第 9 巻第 3,4 号，第 10 巻第 1,2 号の計 4 号を，下記のとおり J-STAGE を介したオンラインジャーナルとして公開しました．

今期の論文委員会は年 3 回の委員会開催に加えて，e-mail 等を活用して効率的な運営を致しました．

①オリエンテーションミーティングの開催

和文誌、MTA の現状とビジョン、特集号の企画立案、査読システムの説明などに関し、和文誌・MTA 両編集委員メンバーが一堂に会して共有を図るオリエンテーションミーティングを 6/28 に開催しました．編集委員メンバーの方から「ホームページでの平均査読期間の表示」や「論文特集提案書をホームページから取得可能とする形式」等のご提案をいただきました．平均査読期間の掲載については他学会の掲載方法や数値を確認の上で検討を続け，特集企画提案書類のホームページ掲載については，書式の記入･提出方法に関するインストラクションを整備した上で，掲載に向けて準備を進めることとしました．

②技術委員会での論文特集企画提案依頼

投稿数減少の要因である論文特集企画の減少への対策として，技術委員会（7/7・11/2・3/1 開催）にて編集理事の橋本先生より各研究委員会の委員長に論文特集提案のお願いをいただきました．また，論文特集のご提案に際して，各研究委員会のご状況を伺うアンケートも実施しました．

③研究委員会への最新取扱分野の調査

論文特集企画提案の増加に向け，論文誌のスコープを研究委員会の活動状況に即した内容にアップデートすることが論文委員会内で議論されました．スコープのアップデートに際し，各研究委員会に最新取扱分野の調査へご協力をいただきました．

④論文投稿に関するアンケートの実施

投稿数増加に向けた施策としてアンケート（※）を実施しました．示唆に富んだご回答がいただけ，今後の論文委員会運営に際して有効に活用することとしました．

（※）学会メールマガジン登録者・アカデミックパートナー学生会員を対象にご回答依頼メールを送信

⑤2021 年度丹羽高柳賞論文賞候補論文の選定

和文・MTA 各 3 編の推薦文を起票し，委員会席上にて最終候補論文とすることを決定しました．推薦文の最終確認を行った後に，選奨委員会に提出しました．

⑥和文論文誌掲載料の見直し

高額と指摘される和文論文誌の掲載料見直しに関して，価格設定および， 期間限定 or 恒久的な値下げとする か等について，引き続き検討を続けることとしました．

⑦論文著者様からのご指摘について

MTA 投稿論文の判定内容および判定までに時間を要したことで，論文著者様よりご指摘を頂戴しました．著者様への回答文を作成の上，お送りをしました．また，今後の査読遅延防止に関する施策については，論文委員会で継続して検討することとしました．

⑧和文誌での招待論文査読の方針変更に伴う各種書類改訂

投稿原稿の査読結果に応じて掲載欄を「招待論文」から「これすぽんでんす」等とする方針変更に際して，次年度までに和文論文編集委員会にて改定案を作成し，論文委員会にて合議の上， 方針変更に向けた準備を完了させることとしました．

⑨2021 年 5 月号～2022 年 3 月号の論文特集のテーマとそのページ数

月　号	欄　　名	テ　　ー　　マ	編数	頁数
2021.11	論 文 特 集	ディスプレイー IDW’20 を中心にー	(1)	4
2022. 1	論 文 特 集	選奨（技術振興賞/映像情報メディア未来賞）受賞者論文	〔3〕,【4】	〔19〕,【19】

［　　］は動画付き論文,（)は研究速報,〔 〕は招待論文,【 】は招待フィールド論文

⑩2021 年 5 月号～2022 年 3 月号　オンラインジャーナルのページ数

欄　　名		オンラインジャーナルの頁数(編数)
巻　頭　言	(特　　集)	2 (2)
招 待 論 文		19 (3)
招待フィールド論文		13 (3)
動画付き招待フィールド論文		6 (1)
論　　文	(一　　般)	96 (12)
	(特　　集)	0 (0)
動画付き論文	(一　　般)	0 (0)
	(特　　集)	0 (0)
フィールド論文	(一　　般)	6 (1)
	(特　　集)	0 (0)
研 究 速 報	(一　　般)	4 (1)
	(特　　集)	4 (1)
動画付き研究速報	(一　　般)	0 (0)
	(特　　集)	0 (0)
これすぽんでんす		0 (0)
合　　計		150 (24)

⑪英語論文誌「ITE Transactions on Media Technology and Applications」特集テーマとページ数

月　号	欄　　名	テ　　ー　　マ	編数	頁数
2021. 7	Special Section	Data Storage and Related Technologies	2【1】	16【9】
2021.10	Special Section	IDW ’20	7	49
2022. 4	Special Section	Invited Papers of Media Technology and Applications	【3】	【42】

【 】内は Invited Paper

⑫2021年7月号・10月号，2022年1月号・4月号

英語論文誌「ITE Transactions on on Media Technology and Applications」の ページ数

欄　　名	頁数(編数)
Foreword (Special Section)	3 (3)
Invited Paper (Special Section)	51 (4)
Invited Paper (Regular Section)	6 (1)
Paper (Special Section)	74 (11)
Paper (Regular Section)	108 (10)
合　　計	242 (29)

（３）大会・講習会・講演会論文集（予稿集）関係

・２０２１年冬季大会講演予稿集（Webダウンロード版およびCD-R版）発行

（４）研究会資料（技術報告）関係

巻　号	発行年月日	発行部数	備　考
Ｖｏｌ．４５ Ｎｏ．１２	２０２１年 ５月２５日	１００部	特になし
Ｎｏ．１３	〃 ５月２７日	１４０部	〃
Ｎｏ．１４	〃 ６月　３日	１００部	〃
Ｎｏ．１５	〃 ６月　４日	１２０部	〃
Ｎｏ．１６	〃 ６月１２日	１００部	〃
Ｎｏ．１７	〃 ６月２３日	１２０部	〃
Ｎｏ．１８	〃 ７月　９日	１２０部	〃
Ｎｏ．１９	〃 ７月１３日	１００部	〃
Ｎｏ．２０	〃 ７月２３日	１１０部	〃
Ｎｏ．２１	〃 ８月１０日	１２０部	〃
Ｎｏ．２２	〃 ８月１８日	１１０部	〃
Ｎｏ．２３	〃 ８月２７日	１１０部	〃
Ｎｏ．２４	〃 ８月２７日	１４０部	〃
Ｎｏ．２５	〃 ８月２７日	１２０部	〃
Ｎｏ．２６	〃 ９月　４日	１１０部	〃
Ｎｏ．２７	〃 ９月３０日	１４０部	〃
Ｎｏ．２８	〃 １０月　１日	１００部	〃
Ｎｏ．２９	〃 １０月１２日	１１０部	〃
Ｎｏ．３０	〃 １０月１４日	１２０部	〃
Ｎｏ．３１	〃 １０月２０日	１００部	〃
Ｎｏ．３２	〃 １１月　５日	１１０部	〃
Ｎｏ．３３	〃 １１月１１日	１３０部	〃
Ｎｏ．３４	〃 １１月１８日	１２０部	〃
Ｎｏ．３５	〃 １１月１８日	１３０部	〃
Ｎｏ．３６	〃 １１月１９日	１００部	〃
Ｎｏ．３７	〃 １１月２２日	１３０部	〃
Ｎｏ．３８	〃 １２月　３日	１００部	〃
Ｎｏ．３９	〃 １２月　６日	１１０部	〃
Ｖｏｌ．４６ Ｎｏ．　１	２０２２年 １月１４日	１４０部	〃
Ｎｏ．　２	〃 １月２０日	１００部	〃

Ｎｏ．　３	〃　　１月２４日	１２０部	〃
Ｎｏ．　４	〃　　２月　５日	１１０部	〃
Ｎｏ．　５	〃　　２月１０日	１４０部	〃
Ｎｏ．　６	〃　　２月１４日	１３０部	〃
Ｎｏ．　７	〃　　２月２０日	１００部	〃
Ｎｏ．　８	〃　　２月２５日	１１０部	〃
Ｎｏ．　９	〃　　２月２８日	１１０部	〃
Ｎｏ．１０	〃　　３月　１日	１１０部	〃
Ｎｏ．１１	〃　　３月　４日	１４０部	〃
Ｎｏ．１２	〃　　３月１２日	１００部	〃
Ｎｏ．１３	〃　　３月１６日	１００部	〃
Ｎｏ．１４	〃　　３月２１日	１３０部	〃

３．調査・研究活動（定款　第４条（３））

（１）技術委員会

技術委員会（委員長　伊東　晋）は，今期３回オンライン開催し，本会の研究委員会の円滑な運営を図るため，現状と将来方針について審議いたしました．

今期も，昨期に引き続きコロナ禍の影響により，１２月冬季大会がオンライン開催となり，技術交流会が中止となったため,「優秀研究発表賞」(受賞者１０名）の授賞式も取り止めとなりました．表彰状，賞牌は郵送いたしました．今回は，受賞者紹介を冬季大会の各セッション開始前に Zoom 上で掲示いたしました．また，顔写真と概要を会誌２０２２年３月号に掲載いたしました．

昨期に引き続き，新領域開拓や多数の有料参加による大規模なシンポジウム開催を奨励するための投資的経費を設定し，申請に基づく運用を行いましたが，今期中に実施した施策はありませんでした．
昨期活動を終了したスポーツ情報処理時限研究委員会について，２０２２年４月１日から常設研究委員会として設置することを決定いたしました．

研究会完全電子化（技術報告冊子体廃止）について検討し，冊子体技報年間購読者に対し，２０２２年度は技報オンライン配付システム（技報アーカイブ）をトライアルとして無料提供し，２０２３年度より冊子体を廃止することを決定いたしました．

立体映像技術研究委員会の名称を２０２２年度から「立体メディア技術研究委員会」へ変更することを決定いたしました．

（２）研究委員会

次表に記載の９の研究委員会において，それぞれ研究会活動を推進いたしました．

今期もコロナ禍の影響により，ほぼオンライン開催となりました．開催数は昨期やむを得ず中止となった研究会が再開されたことにより８回増えました．

今期は「技術報告」を４２分冊およびＣＤ－ＲＯＭ１部を出版いたしました．

委　員　会　名	委員長名	開催数	海外	備　考
情報センシング研究委員会	秋田純一	７（０）		全てオンライン
情報ディスプレイ研究委員会	都築俊満	５（０）		全てオンライン
マルチメディアストレージ研究委員会	町田賢司	４（１）		ハイブリッド1回
放送技術研究委員会	斎藤恭一	８（０）		全てオンライン
ヒューマンインフォメーション研究委員会	永井岳大	４（０）		全てオンライン
メディア工学研究委員会	新井啓之	７（０）		全てオンライン
映像表現＆コンピュータグラフィックス研究委員会	名手久貴	５（１）		ハイブリッド1回
アントレプレナー・エンジニアリング研究委員会	上田哲三	３（０）		ハイブリッド1回
立体映像技術研究委員会	陶山史朗	６（０）		全てオンライン

（　）付数字は地方開催数．

４．大会の開催（定款　第４条（４））

（１）年次大会

今期は東京オリンピック・パラリンピックが開催され，例年８月下旬に開催している年次大会は開催時期が重なり，放送・通信事業関係者等の参加が難しくなることが予想されたため，開催を見送りといたしました．

（２）冬季大会

実行委員会（委員長　岩城正和）において，年次大会開催を見送りとしたため会期を１日延長し,次のとおり企画開催いたしました.

会　　期　２０２２年１２月１５日（水）・１６日（木）・１７日（金）
会　　場　オンライン（Zoom 使用）
一般講演　２３セッション（１３１件）
企画講演　７セッション（２９件）／フェロー記念講演：５件
参加者数　２８８名（聴講 112 名，一般発表 131 名，企画セッション関係者 45 名）
技術交流会　実施せず

２０２１年冬季大会セッション，講演件数，座長一覧

	セッション名	件数	座　　長	備　　考
1	メディア工学　行動・動作の認識	8	井田　孝（東芝）	
2	無線・光伝送＆フェロー記念講演	7	岡田　実（奈良先端大）	
3	視聴覚に関する心理・生理的検討と認知科学	6	堀内隆彦（千葉大）	
4	メディア工学　符号化・画像処理１＆フェロー記念講演	6	河村　圭（ＫＤＤＩ総合研） 野中敬介（ＫＤＤＩ総合研）	
5	放送現業	8	津田貴生（ＮＨＫ）	
6	立体映像技術１	5	掛谷英紀（筑波大）	
7	メディア工学　コンピュータビジョン・パターン認識	7	野峻司（ウミトロン）	
8	立体映像技術２	4	陶山史朗（宇都宮大）	
9	ヒューマンインタフェース・情報デザイン	4	永井岳大（東工大）	
10	メディア工学　深層学習とその応用	8	五十川賢造（東芝）	
11	放送方式　映像・音声	7	榎　芳栄（ＴＢＳテレビ）	
12	情報センシング１	5	堺　俊克（ＮＨＫ）	
13	マルチメディアストレージ	6	文仙正俊（福岡大）	
14	放送方式　放送コンテンツ配信	4	塩川茂樹（神奈川工科大）	
15	情報センシング２	5	大竹　浩（ナノルクス）	
16	放送方式　地上・衛星放送	7	濱住啓之（東京高専）	
17	情報センシング３	5	北村和也（ＮＨＫ）	
18	メディア工学　システム・インタフェース・通信	8	塚谷俊介（ＮＴＴ）	
19	映像表現＆ＣＧ１	5	名手久貴（東京工芸大）	
20	メディア工学　符号化・画像処理 2＆フェロー記念講演	6	望月貴裕（ＮＨＫ）	

21	映像表現＆ＣＧ２	5	岡市直人（ＮＨＫ）	
22	映像表現＆ＣＧ３	5	三ッ峰秀樹（ＮＨＫ）	
23	情報ディスプレイ	5	薄井武順（ＮＨＫ）	
［企画１］ボリュメトリックスタジオの最新動向		2	掛谷英紀（筑波大）	
［企画２］ブレインマシンインタフェイス（ＢＭＩ）の動向		3	荻谷光晴（神奈川大）	
［企画３］放送と通信メディアの視聴動向と放送局のネットサービス		3	村田英一（京大）	
［企画４］MLOps に基づく AI/ML 実運用最前線		4	田良島周平（NTTｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ） 五十川賢造（東芝）	
［企画５］KIBME/ITE Joint Session ～ AR/MR/XR Technology ～		8	Jeongchang Kim（KMOU） Takashi TOKUDA（Tokyo Inst. of Tech.）	
［企画６］２０２０年度各賞受賞企業による記念講演		6	倉掛卓也（ＮＨＫ）	
［企画７］ＳＴＥＡＭ教育の最前線		3	堺　俊克（ＮＨＫ）	

大会終了後、「企画４：MLOps に基づく AI/ML 実運用最前線」動画を会員向けに，「企画６：2020 年度各賞受賞企業による記念講演」動画を一般公開した.

５．国際会議・講演会の開催（定款　第４条（４））

①「KIBME Fall Conference 2021」にて基調講演を行った.

※KIBME：The Korean Institute of Broadcast and Media Engineers

会　期：２０２１年１１月２６日、２７日

場　所：オンライン開催

②冬季大会企画セッション開催

「KIBME/ITE Joint Session～AR/MR/XR Technilogy～」セッションを KIBME から 4 件、ITE から 4 件の計 8 件の講演を行った.

会　期：２０２１年１２月１６日

場　所：オンライン開催

③第２８回ディスプレイ国際ワークショップ（ＩＤＷ２０２１）

会　期：２０２１年１２月１日～３日

場　所：オンライン開催

④「ICAI2021」企画セッション

会　期：２０２１年１０月８日

（2021 年 10 月 4 日～8 日まで開催された「ICAI2021」において，1 セッションを企画）

テーマ：8K Technology and Applications

講演数：3 件

場　所：オンライン開催

６．支部活動報告

（１）北海道支部

①支部大会（オンライン開催　2021 年 5 月 20 日）

②役職会

第 1 回（オンライン開催　2021 年 5 月 20 日）

第 2 回（オンライン開催　2021 年 10 月 28 日）

第 3 回（メール審議　2022 年 4 月 12 日配布）

③2021 年度　電気・情報関係学会北海道支部連合大会

（2021 年 11 月 6 日～7 日，オンライン開催＠ZOOM）

講演件数：一般講演 135 件
参加者数：285 名
特別講演
日　時：11 月 6 日（土）13：00-14：00
講　師：亀田貴雄（北見工業大学社会環境系教授）
演　題：南極での越冬観測および雪氷研究～過去 72 万年の気候変動と最近の地球温暖化～
④技術セミナー2022（2022 年 3 月 2 日，オンライン開催＠ZOOM）
テーマ：「放送機器のクラウド化、IP 化の最新動向」
参加者：51 名
講演 1「グラスバレーのクラウド/IP 制作ソリューション」
野口和洋（グラスバレー（株)），橋本章郎（グラスバレー（株））
講演 2「ライブ映像制作を変革する IT/IP プラットフォーム KAIROS」
石井　隆（パナソニック（株）コネクティッドソリューションズ社），
中尾　誉（ソニービジネスソリューション（株））
（２）東北支部
①2021 年度通常大会（2021 年 6 月 9 日　オンライン開催）
②役職会
第１回幹事会（2021 年 6 月 14 日，メール審議）
＊支部役職者任期途中交代（宮城テレビ放送）について
第２回幹事会（2021 年 7 月 7 日，メール審議）
＊サイエンス・デイでの表彰実施、副賞の募集について
第３回幹事会（2022 年 2 月 21 日，メール審議）
＊第 75 回東北地方技術報告会特別講演への共催について
第４回幹事会（2022 年 3 月 12 日，メール審議）
＊支部役職者任期途中交代（東北インテリジェント通信）について
第５回幹事会（2022 年 3 月 14 日，メール審議）
＊東北地区若手研究者研究発表会での表彰実施について
③施設見学会　※コロナ禍のため自粛
④第７４回東北地方技術報告会特別講演（2021 年 5 月 14 日　ＮＨＫ仙台拠点放送局と共催）
「AI・DX 時代を生き抜く思考法と働き方」
⑤後援団体として参加（2 回）
1)学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2021（2021 年 7 月 18 日　オンライン開催）
2)サイエンス・デイ AWARD 2021 表彰「映像情報メディア学会東北支部賞」(2021 年 7 月 17 日～18 日)
＊受賞した仙台二華中学校には副賞として東北支部役職者提供のノベルティグッズを贈呈
⑥電気関係学会東北支部連合大会（2021 年 8 月 26 日～27 日，八戸工業大学よりオンライン開催）
一般講演：発表件数 174 件
⑥映像情報メディア学会誌企画提案
2022 年 3 月号＜技術解説＞欄，題目「プラスチック光ファイバーを用いた新しい放送受信システム～VPOF システム～」の掲載
⑦2022 年東北地区若手研究者研究発表会（共催）
（2022 年 2 月 28 日，主催：東北地区若手研究者発表会，東北工業大学よりオンライン開催」
発表件数：口頭発表 87 件，ポスター63 件
＊映像情報メディア学会東北支部優秀発表者表彰 3 件，受賞者には表彰状を送付
（３）北陸支部
①2021 年度北陸支部大会（5 月 24 日，オンライン開催）
②第 30 回 中部放送技術フォーラム（2021 年 5 月 26 日～27 日，オンライン開催）
③2021 年度電気関係学会北陸支部連合大会（2021 年 9 月 4 日，オンライン開催）
④2021 年度映像情報メディア学会北陸支部講演会（2022 年 3 月 4 日，オンライン開催）
参加者：63 名
演題 1：雷の観測と日本海沿岸の雷性状
講師 1：松井倫弘（(株) フランクリン・ジャパン）
演題 2：ＮＨＫ大河ドラマの最新制作技術（撮影・CG/VFX）
講師 2：松永孝治・山口卓夫（ＮＨＫ放送技術局）
⑤北陸地区電気・電子・情報関係学科の成績優秀学生の表彰（2022 年 3 月 1 日）
10 校 10 名（賞状と記念品の発送）
（４）東海支部
①支部大会（2021 年 4 月 21 日，Teams オンライン開催）
②支部単独主催講演会（2022 年 3 月 17 日，Teams オンライン開催）

参加者数：48 名参加者数：74 名
講演１「今後の Locipo 展開について」石井健吾（東海テレビ放送（株））
講演２「映像制作業界におけるデジタルトランスフォーメーション提案」
鈴木まり（ソニーマーケティング（株））
③電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会（2021 年 9 月 7 日～8 日，Zoom オンライン開催）
講演数：357 件
参加登録　講演者：360 名，聴講者：281 名
④中部放送技術フォーラム(2021 年 5 月 26 日～27 日，Teams オンライン開催/ＮＨＫ名古屋拠点放送局)
聴講者：延べ 300 人以上（推定）
⑤2021 年度助成実績「第 25 回東海地区音声関連研究室修士論文中間発表会」
（2021 年 9 月 11 日，Zoom オンライン開催/岐阜大学）
参加者数：201 名
⑥役職会
第 1 回臨時役職会（2021 年 4 月 2 日，メール審議）支部役職者交代について
第 2 回臨時役職会（2021 年 6 月 29 日，メール審議）支部役職者交代について
（５）関西支部
①電気関係学会関西連合大会（2021 年 12 月 4 日～5 日，於．同志社大学　京田辺キャンパス
（オンライン開催）
本支部担当講演：G12 画像処理技術　一般講演 7 件,招待講演 1 件
G13 映像メディア関連技術　一般講演 4 件,招待講演 1 件
②専門講習会 1（2021 年 6 月 18 日，zoom 開催）
テーマ：「映像と放送におけるクラウドサービスの活用」
講演件数： 6 件　有料受講者：33 名
③専門講習会 2（2021 年 10 月 29 日，zoom 開催）
テーマ：「未来を切り開く世界最先端映像技術」
講演件数：6 件　　有料受講者：17 名
④専専門講習会 3（2022 年 2 月 10 日，zoom 開催）
テーマ：「スポーツ中継の最新技術動向」
講演件数：6 件　　有料受講者：40 名
⑤役職会（6 回）
・第 1 回役職会（2021 年 4 月 22 日）zoom 開催
・第 2 回役職会（2021 年 6 月 28 日）zoom 開催
・第 3 回役職会（2021 年 10 月 22 日）zoom 開催
・第 4 回役職会（2021 年 12 月 20 日）zoom 開催
・第 5 回役職会（2022 年 3 月 17 日）zoom 開催
（６）中国支部
①2021 年度中国支部　支部大会（2021 年 4 月 14 日，Teams オンライン会議）
②2021 年度(第 72 回)電気・情報関連学会中国支部連合大会第 1 回大会委員会
（2021 年 5 月 18 日，Teams オンライン会議）
③2021 年度(第 72 回)電気・情報関連学会中国支部連合大会第 2 回大会委員会
（2021 年 6 月 29 日，Teams オンライン会議）
④2021 年度(第 72 回)電気・情報関連学会中国支部連合大会プログラム編成委員会
（2021 年 9 月 10 日　Teams オンライン会議）
⑤2021 年度(第 72 回)電気・情報関連学会中国支部連合大会
（2021 年 10 月 23 日，Zoom オンライン開催（広島工業大学））
会場(Zoom)数：24，部門数：27，セッション数：45，講演数：224 件
映像情報メディア学会から 6 件報告
⑥2021 年度中国支部　役員・運営委員会（2021 年 12 月 8 日，Teams オンライン会議）
⑦2021 年度(第 72 回)電気・情報関連学会中国支部連合大会第３回大会委員会
（2021 年 12 月 15 日，Teams オンライン会議）
⑧2021 年度電気・情報関連学科優秀卒業生表彰　58 校 90 名
⑨2022 年度中国支部　支部役職者選挙（2022 年 2 月 19 日～3 月 19 日，Web 投票）
（７）四国支部
①四国支部通常支部大会（2021 年 5 月 21 日～5 月 31 日，書面公開による審議）

②四国支部役職会 2回
（2021年9月4日～10月8日および2021年11月8日～12月15日，メール審議）
③電気・電子・情報関係学会四国支部連合大会（2021年9月25日，オンライン）
発表件数　216件
第1回実行委員会（2021年5月12日,オンライン）
第2回実行委員会（2021年8月20日～8月27日,メール審議）
臨時実行委員会（2021年9月28日～10月4日,メール審議）
第3回実行委員会（2021年12月22日,オンライン）
④四国コンテンツ映像フェスタ2021（協賛　審査員協力/副賞提供）
応募作品事前審査（2021年11月26日～12月10日）
審査会・表彰式（2022年1月28日）

（８）九州支部
①支部通常大会（2021年5月）　メール審議
②電気・情報関係学会九州支部連合大会（2021年9月24日～25日，オンライン開催）
講演件数：一般講演　315件（2020年度 350 件）
参加者数：507名（2020年度 546 名）
特別講演
講　師：木村隆夫（木村情報技術（株）　代表取締役）
演　題：「起業家、社会人に役立つ、知っておくべきビジネススキル」
③放送技術研究会（本部と共催）
（2022年1月21日，オンライン開催）
学生および若手発表：10件
一般講演：2件
④九州支部主催講演会　※新型コロナ感染拡大に伴うまん延防止措置のため開催を見送り
⑤九州支部主催施設見学会
（2021年12月，NHK福岡８Ｋシアター見学会　※2022年4月17日へ開催延期）
（2022年1月29日，NHK佐賀新放送会館見学会　※2022年4月23日へ開催延期）
⑥役職会（7回）
第１回役職会（2021年　5月，オンライン）※2021年度支部通常大会　議案について
第２回役職会（2021年　7月，メール審議）※学会誌記事題目・企画提案について
第３回役職会（2021年 10月，メール審議）※2022年度（次年度）研究会の支部地域開催について
第４回役職会（2021年 10月，メール審議）※施設見学会開催について
第５回役職会（2022年　1月，メール審議）※施設見学会延期について
第６回役職会（2022年　1月，オンライン）※2022年度役員改選について
第７回役職会（2022年　3月，メール審議）※施設見学会延期について

７．支部別会員数（２０２２年３月３１日現在）

支部名	正会員	学生会員	合計	維持会員
北海道支部	５５	３	５９	５（２７口）
東北支部	６７	０	６７	１６（３４口）
北陸支部	４９	０	４９	４（８口）
東海支部	１２５	３	１２８	１４（３４口）
関西支部	２９８	８	３０６	１１（９０口）
中国支部	５８	０	５８	１４（２４口）
四国支部	３９	０	３９	９（１２口）
九州支部	７８	０	７８	１８（３３口）
支部合計	７６９	１４	７８４	９１（２６２口）

注：正会員には名誉会員を含める
注：学生会員にはアカデミックパートナー学生を含まない

８．図書の企画・刊行（定款　第４条（２）項）

編集委員会（編集長　佐藤真一）において，会誌連載講座，会誌連載シリーズなどの単行本化を検討しました．今年度も，体系的（冊子）にはせず，このままの形態で学会ＨＰにて公開することにしました．

９．ＩＴＥテストチャートの作成・頒布(定款　第４条(２))

ＩＴＥテストチャート委員会(委員長　井口和久)を中心に以下の事業を展開しました．

（１）超高精細・広色域 HDR 版標準動画像(C シリーズ)は頒布開始後引き合いが続いています．さらに，スタジオにて HDR 効果を際立たせた照明による撮影済み素材の頒布が未完となっていましたが，2022 年 4 月に頒布を開始しました．

（２）３次元マルチチャネル音響標準音源小委員会(主査　小野一穂),ARIB と共同で３次元マルチチャネル音響標準音源 B シリーズとして,オブジェクトベース標準音源の制作を検討してまいりましたが,2021 年度は具体的な制作方針の決定には至りませんでした．

（３）ハイビジョンシリーズおよび超高精細・広色域標準静止画像,超高精細・広色域標準動画像Ａシリーズ/Ｂシリーズについては引き合いが続いています．超高精細・広色域 HDR 版標準動画像(C シリーズ)は頒布開始後，国内のみならず海外の大学・研究機関・メーカから引き合いがありました．

１０．丹羽高柳賞,技術振興賞,鈴木記念奨励賞,映像情報メディア未来賞の選考と贈呈(定款　第４条(５))

〔各賞受賞者氏名／敬称略〕

＜丹羽高柳賞＞

（１）功績賞

①受賞者：太田　淳（奈良先端科学技術大学院大学）
　功　績：新機能 CMOS イメージセンサの研究とそのバイオメディカル応用開拓

②受賞者：菅原正幸（NEC　放送・メディア事業部）
　功　績：テレビジョン映像システムの先駆的な研究開発、標準化および実用化への貢献

（２）業績賞（今年度推薦なし）

（３）論文賞

①受賞者：小川勝久（立命館大学／キヤノン）、森健太朗（キヤノン）
　題　目：2.5億画素-19K超高解像度カメラを用いた高精細大画面映像表現

②受賞者：Rihito Kuroda, Masahiro Yamamoto, Yuki Sugama, Yoshiaki Watanabe, Manabu Suzuki, Tetsuya Goto, Shigetoshi Sugawa（Tohoku University）, Toshiro Yasuda, Shinichi Murakami,Yayoi Yokomichi, Hiroshi Hamori（OHT Inc.）
　題　目：High Accuracy High Spatial　Resolution and Real-Time CMOS Proximity Capacitance Image Sensor Technology and its Applications

③受賞者：Yutaro Katano, Teruyoshi Nobukawa, Tetsuhiko Muroi, Nobuhiro Kinoshita, Norihiko Ishii（NHK）
　題　目：Efficient Decoding Method for Holographic Data Storage Combining Convolutional Neural Network and Spatially Coupled Low-Density Parity-Check Code

＜鈴木記念奨励賞＞

①受賞者：山口隆裕（ＮＨＫ）
　題　目：FPU を用いた IP リモート制作用無線伝送システム（冬季 11B-2）

②受賞者：中村奎太（千葉大）
　題　目：サブ画素配列が知覚的解像度に与える影響の実験的検討（冬季 11D-3）

③受賞者：木谷佳隆（ＫＤＤＩ総合研究所）
　題　目：4K ライブ映像伝送のための VVC 符号化特性評価（冬季 12A-3）

④受賞者：岡田竜馬（奈良先端科学技術大学院大学）
　題　目：電界イメージングに向けた多層偏光子構造による高感度偏光変調検出 CMOS イメージセンサ（冬季 23C-3）

⑤受賞者：髙橋康太（ＮＨＫ）
　題　目：サッカー中継用 AI ロボットカメラにおける撮影領域決定技術（冬季 31B-2）

＜技術振興賞＞

（１）進歩開発賞（現場運用部門）

①受賞者：クラポ開発グループ

小池　中・杉田佳則（日本テレビ），榊原　　毅（NEC）

題　目：WEB ブラウザ上で動作する素材アップロードツール「クラポ」の開発

②受賞者：次世代情報カメラプロジェクト

代表：峯　武史・松永政孝・鈴木健司（フジテレビ）

題　目：災害情報カメラ収録システム「TOREZO」の開発～日本全国に広がる情報カメラ映像の自動送出を実現～

③受賞者：日本テレビ AI 社内開発チーム

代表：篠田貴之（日本テレビ）

題　目：AI 制作支援システム「エイディ」の社内開発と運用

（２）進歩開発賞（研究開発部門）

①受賞者：音の VR アプリ開発チーム

堀内俊治・大久保翔太・小林達也（KDDI 総合研究所）

題　目：特定空間フォーカス型 360 度動画再生アプリ「音の VR」の開発と実用化

（３）コンテンツ技術賞

①受賞者：AI 活用プロジェクト

白坂典義・湯原光泰・武田　篤（フジテレビ）

コンテンツ名：AI 画像解析アプリ「メタロウ」の開発～コンテンツの価値向上を目指して～

②受賞者：青木貴則・中川清志・吉本　藍（TBS アクト）

コンテンツ名：照明・電飾シミュレーション CG システム「3D イルミリンク」

＜映像情報メディア未来賞＞

①受賞者：インコヒーレントデジタルホログラフィー研究グループ

代表：信川輝吉（ＮＨＫ）

題　目：インコヒーレントデジタルホログラフィーの動画像撮影に向けた複数ホログラムの一括撮影技術

１１．名誉会員の推薦（定款　第４条（８））

本年度，名誉会員候補者の推薦がなかったため，第 68 回定時社員総会への名誉会員推挙は行わないことといたしました.

１２．フェロー認定証の贈呈（定款　第４条（５））

フェロー選定委員会（委員長　岩城正和）において，慎重に検討しました結果，次の３名の方々にフェローの称号を授与することといたしました.

＜フェロー認定者／五十音順＞

向井信彦（東京都市大学），山内結子（電波産業会），渡辺　裕（早稲田大学）

１３．社会貢献活動（定款　第４条（７））

１）2020 年度各賞受賞企業による記念講演（冬季大会併催）

日時：2021 年 12 月 17 日（金）

会場：動画公開

（１）＜技術振興賞＞進歩開発賞（現場運用部門）受賞

『ファイルベースシステム向け社外プレビュー用共通 API「千里眼」の開発』

河村浩司・西田紘基（ＴＢＳテレビ）

（２）＜技術振興賞＞進歩開発賞（現場運用部門）受賞

『AI リアルタイム文字マスクシテムの開発』　安田　元・胡子裕之（テレビ朝日）

（３）＜技術振興賞＞コンテンツ技術賞受賞

『「超逆境クイズバトル!! 99 人の壁」リモート収録システムの開発』

99 人の壁リモート収録システムプロジェクト　上田容一郎・若狭正生（フジテレビ）

（４）映像情報メディア未来賞受賞

『高移動度塗布型酸化物薄膜トランジスタの開発』　宮川幹司（ＮＨＫ）

１４．通常総会の開催（定款　第４条（８））

（１）第６７回定時社員総会

会期　２０２１年５月２８日

会場　機械振興会館　＋　オンライン

（２）第６８回定時社員総会の準備

２０２２年５月２７日に予定し，その準備を行いました.

１５．２０２１年度理事会の開催（定款　第４条（８））

本年度の定例理事会は新型コロナウイルス感染予防のため原則としてオンサイト開催を取りやめ，リモート開催 7 回，ハイブリッド開催(機械振興会館会議室+オンライン)1 回,計 8 回開催いたしました.このうち,代表代議員出席 3 回，支部長出席(代理を含む)8 回にて開催し,学会の事業活動などを積極的に推進するための検討を行いました.

以上

2021度決算報告書

自　　2021年　４月　　１日

至　　2022年　３月　３１日

一般社団法人　映像情報メディア学会

貸借対照表

2022年 3月31日現在

一般社団法人映像情報ﾒﾃﾞｨｱ学会　　（単位:円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
１．流動資産			
現金預金	51,705,139	45,552,949	6,152,190
現金	40,676	51,325	-10,649
当座預金	8,602,582	6,584,602	2,017,980
普通預金	38,902,109	35,875,830	3,026,279
郵便振替貯金	3,756,691	2,674,117	1,082,574
定期預金	403,081	0	403,081
定期積金	0	367,075	-367,075
未収会費	1,171,200	1,955,500	-784,300
未収金	3,618,714	5,276,501	-1,657,787
棚卸資産	11,387,403	11,623,095	-235,692
貯蔵品	359,500	241,500	118,000
有価証券	5,000,000	5,000,000	0
立替金	26,213	26,213	0
仮払金	398,750	400,010	-1,260
貸倒引当金	-79,900	-85,000	5,100
流動資産合計	73,587,019	69,990,768	3,596,251
２．固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	10,768,414	12,515,414	-1,747,000
選奨基金	15,955,528	16,130,806	-175,278
啓発普及基金	14,000,000	14,000,000	0
研究・特別企画基金	26,597,768	26,597,768	0
記念事業特定資	35,850,294	35,850,294	0
会誌活性化等特定資産	29,871,500	31,871,500	-2,000,000
事務局設備特定資産	860,310	860,310	0
鈴木記念賞特定	1,735,507	1,755,175	-19,668
発展事業基金	7,677,356	6,988,064	689,292
特定資産合計	143,316,677	146,569,331	-3,252,654
(3) その他固定資産			
ソフトウエア	116,703	316,695	-199,992
什器備品	1	1	0
保証金	1,714,800	1,714,800	0
その他固定資産合計	1,831,504	2,031,496	-199,992
固定資産合計	148,148,181	151,600,827	-3,452,646
資産合計	221,735,200	221,591,595	143,605
Ⅱ 負債の部			
１．流動負債			
未払金	788,799	646,515	142,284
前受金	0	34,100	-34,100
前受会費	790,900	868,100	-77,200
預り金	249,408	302,068	-52,660
賞与引当金	3,494,565	2,578,665	915,900
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	634,400	154,000	480,400
流動負債合計	6,028,072	4,653,448	1,374,624
２．固定負債			
退職給付引当金	17,250,771	16,531,344	719,427
固定負債合計	17,250,771	16,531,344	719,427
負債合計	23,278,843	21,184,792	2,094,051
Ⅲ 正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産	198,456,357	200,406,803	-1,950,446
正味財産合計	198,456,357	200,406,803	-1,950,446
負債及び正味財産合計	221,735,200	221,591,595	143,605

貸借対照表内訳表

2022年 3月31日現在

一般社団法人映像情報ﾒﾃﾞｨｱ学会

科目	実施		
	会誌関係事業	研究会関係事業	支部(研究会)
Ⅰ 資産の部			
１．流動資産			
現金預金	-91,391,794	-12,557,431	-1,420,761
現金	-8,185,308	-7,794,494	-166,893
当座預金	75,826,227	4,468,533	0
普通預金	-171,357,646	-10,187,544	-1,253,868
郵便振替貯金	12,324,933	956,074	0
定期預金	0	0	0
未収会費	0	0	0
未収金	487,920	360,250	0
棚卸資産	0	0	0
貯蔵品	359,500	0	0
有価証券	0	0	0
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
他会計へ振出	20,119,532	497,088	0
資金	0	0	0
貸倒引当金	0	0	0
流動資産合計	-70,424,842	-11,700,093	-1,420,761
２．固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
選奨基金	-15,000,000	0	0
啓発普及基金	0	0	0
研究・特別企画基金	0	26,597,768	0
記念事業特定資	0	0	0
会誌活性化等特定資産	29,871,500	0	0
事務局設備特定資産	0	0	0
鈴木記念賞特定	0	0	0
発展事業基金	0	0	0
特定資産合計	14,871,500	26,597,768	0
(3) その他固定資産			
ソフトウエア	-81,576	0	0
什器備品	0	0	0
保証金	0	0	0
その他固定資産合計	-81,576	0	0
固定資産合計	14,789,924	26,597,768	0
資産合計	-55,634,918	14,897,675	-1,420,761
Ⅱ 負債の部			
１．流動負債			
未払金	272,685	142,707	0
前受会費	0	0	0
預り金	1,260	0	0
賞与引当金	167,460	24,016	0
未払法人税等	0	0	0
他会計より繰入	154,604,547	59,467,112	1,137
未払消費税等	0	0	0
流動負債合計	155,045,952	59,633,835	1,137
２．固定負債			
退職給付引当金	-1,508,478	958,406	0
固定負債合計	-1,508,478	958,406	0
負債合計	153,537,474	60,592,241	1,137
Ⅲ 正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産	-200,317,144	-44,579,993	-1,421,541
正味財産合計	-209,172,392	-45,694,566	-1,421,898
負債及び正味財産合計	-55,634,918	14,897,675	-1,420,761

事業						その他会
表彰、ｺﾝｸｰﾙ	共通	小　計	技術報告関係	図書関係	ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ関係	会誌頒布
-3,786,384	31,735,367	-77,421,003	13,107,311	564,878	107,968,573	13,654,076
-207,463	-47,740	-16,401,898	-977,211	-3,595	-657,134	3,300
2,320,870	-33,888,982	48,726,648	21,517,072	586,835	97,714,082	13,558,148
-5,906,487	73,034,444	-115,671,101	-33,512,273	-21,008	11,045,143	0
6,696	-7,362,355	5,925,348	26,079,723	2,646	-133,518	92,628
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	848,170	1,308,980	0	956,375	74,029
0	0	0	0	0	10,619,118	0
0	0	359,500	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
553,475	0	21,170,095	17,198,850	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
-3,232,909	31,735,367	-55,043,238	31,615,141	564,878	119,544,066	13,728,105
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
30,955,528	0	15,955,528	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	26,597,768	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	29,871,500	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
3,650,257	-1,914,750	1,735,507	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
34,605,785	-1,914,750	74,160,303	0	0	0	0
0	0	-81,576	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	-81,576	0	0	0	0
34,605,785	-1,914,750	74,078,727	0	0	0	0
31,372,876	29,820,617	19,035,489	31,615,141	564,878	119,544,066	13,728,105
9,690	0	425,082	41,658	0	16,285	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1,260	0	0	0	0
42,029	0	233,505	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
51,472,806	31,152,627	296,698,229	-620,651	0	21,770	3,513,192
0	209,352	209,352	0	0	0	0
51,524,525	31,361,979	297,567,428	-578,993	0	38,055	3,513,192
1,095,038	0	544,966	1,279,002	0	0	0
1,095,038	0	544,966	1,279,002	0	0	0
52,619,563	31,361,979	298,112,394	700,009	0	38,055	3,513,192
0	0	0	0	0	0	0
-31,216,865	-1,541,362	-279,076,905	40,186,109	564,878	100,706,164	10,096,042
-21,246,687	-1,541,362	-279,076,905	30,915,132	564,878	119,506,011	10,214,913
31,372,876	29,820,617	19,035,489	31,615,141	564,878	119,544,066	13,728,105

会誌(収)						
会誌50CD-ROM	会誌関係	共通	小　計	講演会(支部)	連合大会(支部)	講習会(支部)
29,952	0	-44,592,534	90,732,256	-2,882,011	-4,416,056	1,740,416
0	0	206,622	-1,428,018	-477,899	-332,846	-307,195
0	0	-39,806,394	93,569,743	0	0	0
0	0	5,450,484	-17,037,654	-2,404,112	-4,083,210	2,047,611
29,952	0	-10,443,246	15,628,185	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	2,339,384	0	0	0
768,285	0	0	11,387,403	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1,434,669	18,633,519	0	4,370	0
0	0	4,800	4,800	0	0	0
0	0	-58,400	-58,400	0	0	0
798,237	0	-43,211,465	123,038,962	-2,882,011	-4,411,686	1,740,416
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
798,237	0	-43,211,465	123,038,962	-2,882,011	-4,411,686	1,740,416
0	0	0	57,943	0	17,413	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	609,525	609,525	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	592,076	54,780,047	58,286,434	0	-4,370	0
0	0	393,328	393,328	0	0	0
0	592,076	55,782,900	59,347,230	0	13,043	0
0	0	3,716,505	4,995,507	0	0	0
0	0	3,716,505	4,995,507	0	0	0
0	592,076	59,499,405	64,342,737	0	13,043	0
0	0	0	0	0	0	0
-797,755	-592,076	-91,467,137	58,696,225	-2,959,584	-8,579,789	1,821,051
798,237	-592,076	-102,710,870	58,696,225	-2,882,011	-4,424,729	1,740,416
798,237	0	-43,211,465	123,038,962	-2,882,011	-4,411,686	1,740,416

				その他会計(公)		
見学会(支部)	年次大会(支部)	年次大会	冬季大会	講習会関係	SMPTE日本会合	国際講演会
-901,292	-99,420	13,944,811	9,432,690	713,379	-29,052	261,224
-209,350	-92,840	-1,148,207	381,613	-5,000	0	-950
0	0	5,970,401	6,771,273	120,000	0	490,167
-691,942	-6,580	-10,358,078	-6,393,465	788,379	-29,052	-227,993
0	0	19,480,695	8,673,269	-190,000	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	103,860	327,300	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	11,000	24,457	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
-901,292	-99,420	14,059,671	9,784,447	713,379	-29,052	261,224
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
-901,292	-99,420	14,059,671	9,784,447	713,379	-29,052	261,224
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	81,703	3,586	0	-998,255	90
0	0	0	0	0	0	0
0	0	81,703	3,586	0	-998,255	90
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	81,703	3,586	0	-998,255	90
0	0	0	0	0	0	0
-898,214	-99,420	18,111,407	9,787,760	713,379	979,571	261,134
-901,292	-99,420	13,977,968	9,780,861	713,379	969,203	261,134
-901,292	-99,420	14,059,671	9,784,447	713,379	-29,052	261,224

					法人会計	
講演会	共通(支部)	科学博物館展示	共通	小　計	法人会計	法人会計(支部)
170,306	-938,229	-206,954	-8,259,880	8,529,932	17,647,371	12,216,583
-290	-5,000	-3,158	-7,700	-2,208,822	18,453,001	1,626,413
133,000	0	0	-3,380,345	10,104,496	-143,798,305	0
2,596	-933,229	-203,796	5,919,835	-16,573,036	177,593,730	10,590,170
35,000	0	0	-10,791,670	17,207,294	-35,004,136	0
0	0	0	0	0	403,081	0
0	0	0	0	0	1,171,200	0
0	0	0	0	431,160	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	5,000,000	0
0	0	0	0	0	26,213	0
0	0	0	0	0	398,750	0
288,528	0	0	2,879,401	3,207,756	192,464,268	0
0	0	0	0	0	-4,800	0
0	0	0	0	0	-21,500	0
458,834	-938,229	-206,954	-5,380,479	12,168,848	216,681,502	12,216,583
0	0	0	0	0	3,000,000	0
0	0	0	0	0	3,000,000	0
0	0	0	0	0	10,768,414	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	14,000,000	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	35,850,294	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	860,310	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	7,677,356	0
0	0	0	0	0	69,156,374	0
0	0	0	0	0	198,279	0
0	0	0	0	0	1	0
0	0	0	0	0	1,714,800	0
0	0	0	0	0	1,913,080	0
0	0	0	0	0	74,069,454	0
458,834	-938,229	-206,954	-5,380,479	12,168,848	290,750,956	12,216,583
0	281,820	0	-145,860	153,373	127,582	24,819
0	0	0	0	0	790,900	0
0	0	0	0	0	248,148	0
0	0	0	25,725	25,725	2,625,810	0
0	0	0	0	0	70,000	0
263,362	0	720	27,662,613	27,009,449	-146,522,844	4,370
0	0	0	31,720	31,720	0	0
263,362	281,820	720	27,574,198	27,220,267	-142,660,404	29,189
0	0	0	-228,146	-228,146	11,938,444	0
0	0	0	-228,146	-228,146	11,938,444	0
263,362	281,820	720	27,346,052	26,992,121	-130,721,960	29,189
0	0	0	0	0	0	0
199,842	-1,226,205	-207,674	-32,726,531	-14,823,273	421,484,916	12,175,394
195,472	-1,220,049	-207,674	-32,726,531	-14,823,273	421,472,916	12,187,394
458,834	-938,229	-206,954	-5,380,479	12,168,848	290,750,956	12,216,583

（単位：円）

小　計	内部消去 一般事業	内部消去 小　計	合　計
29,863,954	0	0	51,705,139
20,079,414	0	0	40,676
-143,798,305	0	0	8,602,582
188,183,900	0	0	38,902,109
-35,004,136	0	0	3,756,691
403,081	0	0	403,081
1,171,200	0	0	1,171,200
0	0	0	3,618,714
0	0	0	11,387,403
0	0	0	359,500
5,000,000	0	0	5,000,000
26,213	0	0	26,213
398,750	0	0	398,750
192,464,268	-235,475,638	-235,475,638	0
-4,800	0	0	0
-21,500	0	0	-79,900
228,898,085	-235,475,638	-235,475,638	73,587,019
3,000,000	0	0	3,000,000
3,000,000	0	0	3,000,000
10,768,414	0	0	10,768,414
0	0	0	15,955,528
14,000,000	0	0	14,000,000
0	0	0	26,597,768
35,850,294	0	0	35,850,294
0	0	0	29,871,500
860,310	0	0	860,310
0	0	0	1,735,507
7,677,356	0	0	7,677,356
69,156,374	0	0	143,316,677
198,279	0	0	116,703
1	0	0	1
1,714,800	0	0	1,714,800
1,913,080	0	0	1,831,504
74,069,454	0	0	148,148,181
302,967,539	-235,475,638	-235,475,638	221,735,200
152,401	0	0	788,799
790,900	0	0	790,900
248,148	0	0	249,408
2,625,810	0	0	3,494,565
70,000	0	0	70,000
-146,518,474	-235,475,638	-235,475,638	0
0	0	0	634,400
-142,631,215	-235,475,638	-235,475,638	6,028,072
11,938,444	0	0	17,250,771
11,938,444	0	0	17,250,771
-130,692,771	-235,475,638	-235,475,638	23,278,843
0	0	0	0
433,660,310	0	0	198,456,357
433,660,310	0	0	198,456,357
302,967,539	-235,475,638	-235,475,638	221,735,200

正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人映像情報ﾒﾃﾞｨｱ学会　　（単位:円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	46,864	47,100	-236
基本財産受取利	46,864	47,100	-236
特定資産運用益	662,861	471,000	191,861
特定資産受取利	662,861	471,000	191,861
受取入会金	21,000	23,500	-2,500
受取入会金	21,000	23,500	-2,500
受取会費	48,819,200	50,877,400	-2,058,200
正学会員会費	25,174,200	26,582,400	-1,408,200
維持会員会費	21,925,000	22,575,000	-650,000
特殊会員会費	720,000	760,000	-40,000
ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾊﾟｰﾄﾅｰ	1,000,000	960,000	40,000
事業収益	25,031,988	23,906,761	1,125,227
会誌関係収入	4,681,490	5,201,253	-519,763
会誌頒布収入	937,476	859,894	77,582
冬季大会収入	2,313,600	2,801,100	-487,500
講習会収入	527,500	477,500	50,000
研究会収入	1,545,500	1,237,246	308,254
技術報告収入	5,573,155	5,754,325	-181,170
図書関係収入	18,480	0	18,480
ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ収入	7,163,563	7,575,443	-411,880
連合大会	2,271,224	0	2,271,224
受取補助金等	150,000	4,300,000	-4,150,000
受取国庫補助金	0	4,300,000	-4,300,000
情報通信月間行事援助金	150,000	0	150,000
受取寄付金	722,000	495,600	226,400
発展事業寄付金	722,000	495,600	226,400
雑収益	863,953	5,210,847	-4,346,894
ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰ収入	23,450	327,900	-304,450
受取利息	542	140,024	-139,482
雑収益	477,894	4,255,796	-3,777,902
連合大会繰入金	187,992	335,767	-147,775
閲覧料	174,075	151,360	22,715
経常収益計	76,317,866	85,332,208	-9,014,342
(2) 経常費用			
事業費	55,720,280	51,597,821	4,122,459
給料手当	20,608,709	20,568,362	40,347
派遣賃金	409,646	409,878	-232
退職給付費用	2,955,391	1,082,923	1,872,468
福利厚生費	2,828,761	2,814,819	13,942
旅費交通費	3,390	1,246	2,144
通信運搬費	2,698,470	2,858,721	-160,251
消耗什器備品費	235,692	105,519	130,173
消耗品費	738,883	842,010	-103,127
修繕費	117,783	260,880	-143,097
印刷製本費	10,096,411	9,633,943	462,468
賃借料	4,095,525	4,399,572	-304,047
支払リース料	562,783	560,736	2,047
諸謝金	592,376	453,957	138,419
租税公課	704,400	658,200	46,200
会議費	278,381	45,066	233,315
支払負担金	787,967	771,935	16,032
支払助成金	60,000	50,000	10,000
広告宣伝費	110,000	311,189	-201,189
委託費	6,156,755	4,628,488	1,528,267
図書費	796,521	807,444	-10,923
雑費	171,960	132,941	39,019
連合大会清算金	710,476	0	710,476
減価償却費	0	199,992	-199,992
管理費	22,444,632	26,227,158	-3,782,526
給料手当	8,772,598	8,755,426	17,172
派遣賃金	541,862	296,796	245,066

退職給付費用	1,258,036	460,973	797,063
福利厚生費	1,292,339	1,220,043	72,296
旅費交通費	1,100	3,526	-2,426
通信運搬費	131,873	216,442	-84,569
消耗品費	286,550	459,559	-173,009
印刷製本費	3,500	5,940	-2,440
賃借料	1,497,100	1,503,830	-6,730
支払リース料	324,308	324,648	-340
諸会費	149,538	150,721	-1,183
租税公課	146,945	140,457	6,488
会議費	180,417	159,060	21,357
委託費	4,772,905	4,910,919	-138,014
雑費	160,896	146,231	14,665
Ｗｅｂ－ＩＴ	2,176,615	2,078,301	98,314
会員管理費	462,598	478,892	-16,294
発展事業資金活	15,460	26,694	-11,234
補助金支出	0	4,300,000	-4,300,000
70周年記念事業	0	345,901	-345,901
法人税等	70,000	70,000	0
減価償却費	199,992	172,799	27,193
経常費用計	78,164,912	77,824,979	339,933
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,847,046	7,507,229	-9,354,275
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-1,847,046	7,507,229	-9,354,275
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
償却債権取立益	0	36,000	-36,000
貸倒引当金戻入	85,000	65,100	19,900
退職給付取崩益	1,747,000	0	1,747,000
経常外収益計	1,832,000	101,100	1,730,900
(2) 経常外費用			
貸倒引当金繰入	79,900	85,000	-5,100
貸倒損失	939,600	980,400	-40,800
賞与引当繰入	915,900	12,595	903,305
経常外費用計	1,935,400	1,077,995	857,405
当期経常外増減額	-103,400	-976,895	873,495
当期一般正味財産増減額	-1,950,446	6,530,334	-8,480,780
一般正味財産期首残高	200,406,803	193,876,469	6,530,334
一般正味財産期末残高	198,456,357	200,406,803	-1,950,446
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	198,456,357	200,406,803	-1,950,446

正味財産増減計算書内訳表

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで
一般社団法人映像情報ﾒﾃﾞｨｱ学会

科目	実施事業							
	会誌関係事業	研究会関係事業	支部(研究会)	表彰、ｺﾝｸｰﾙ	共通	小計	技術報告関係	図書関係
Ⅰ 一般正味財産増減の部								
1．経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0
正学会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0
維持会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0
特殊会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0
ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾊﾟｰﾄﾅｰ	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	4,681,490	1,545,500	0	0	0	6,226,990	5,573,155	18,480
会誌関係収入	4,681,490	0	0	0	0	4,681,490	0	0
会誌頒布収入	0	0	0	0	0	0	0	0
冬季大会収入	0	0	0	0	0	0	0	0
講習会収入	0	0	0	0	0	0	0	0
研究会収入	0	1,545,500	0	0	0	1,545,500	0	0
技術報告収入	0	0	0	0	0	0	5,573,155	0
図書関係収入	0	0	0	0	0	0	0	18,480
ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ収入	0	0	0	0	0	0	0	0
本部交付金	0	0	0	0	0	0	0	0
研究会等補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
連合大会	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	150,000	0	0	0	150,000	0	0
情報通信月間行事援助金	0	150,000	0	0	0	150,000	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
発展事業寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	368,742	13,000	0	0	0	381,742	194,005	0
ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰ収入	0	0	0	0	0	0	23,450	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	365,222	13,000	0	0	0	378,222	0	0
支部繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0
連合大会繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0
閲覧料	3,520	0	0	0	0	3,520	170,555	0
経常収益計	5,050,232	1,708,500	0	0	0	6,758,732	5,767,160	18,480
(2) 経常費用								
事業費	21,181,117	3,340,490	149,897	2,131,487	209,352	27,012,343	2,794,502	0
給料手当	4,019,991	610,428	0	1,068,920	0	5,699,339	0	0
派遣賃金	374,314	16,000	0	0	0	390,314	0	0
退職給付費用	576,487	87,538	0	153,288	0	817,313	0	0
福利厚生費	587,647	94,380	0	165,072	0	847,099	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	2,178,532	71,336	27,953	42,383	0	2,320,204	319,612	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	257,934	65,307	31,944	154,802	0	509,987	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	7,003,658	35,000	0	0	0	7,038,658	2,474,890	0
賃借料	671,046	1,630,983	0	481,367	0	2,783,396	0	0
支払リース料	244,566	36,756	0	64,316	0	345,638	0	0
諸謝金	11,023	180,230	0	0	0	191,253	0	0
租税公課	0	0	0	0	209,352	209,352	0	0
会議費	0	93,031	0	0	0	93,031	0	0
支払負担金	0	4,456	30,000	0	0	34,456	0	0
支払助成金	0	0	60,000	0	0	60,000	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	4,559,825	208,194	0	0	0	4,768,019	0	0
図書費	691,071	102,000	0	0	0	793,071	0	0
雑費	5,023	104,851	0	1,339	0	111,213	0	0
連合大会清算金	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0
派遣賃金	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払リース料	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
Ｗｅｂ－ＩＴ	0	0	0	0	0	0	0	0
会員管理費	0	0	0	0	0	0	0	0
支部交付金	0	0	0	0	0	0	0	0
発展事業資金活	0	0	0	0	0	0	0	0
本部会計繰入支出	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	21,181,117	3,340,490	149,897	2,131,487	209,352	27,012,343	2,794,502	0
評価損益等調整前当期経常増減額	-16,130,885	-1,631,990	-149,897	-2,131,487	-209,352	-20,253,611	2,972,658	18,480
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-16,130,885	-1,631,990	-149,897	-2,131,487	-209,352	-20,253,611	2,972,658	18,480
2．経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
貸倒引当金戻入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付取崩益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
貸倒引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0
貸倒損失	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当繰入	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-16,130,885	-1,631,990	-149,897	-2,131,487	-209,352	-20,253,611	2,972,658	18,480
一般正味財産期首残高	-184,186,259	-42,948,003	-1,271,644	-29,085,378	-1,332,010	-258,823,294	37,213,451	546,398
一般正味財産期末残高	-200,317,144	-44,579,993	-1,421,541	-31,216,865	-1,541,362	-279,076,905	40,186,109	564,878
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	-200,317,144	-44,579,993	-1,421,541	-31,216,865	-1,541,362	-279,076,905	40,186,109	564,878

その他会計(収)											
ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ関係	会誌頒布	会誌5OCD-ROM	会誌関係	共通	小　計	講演会(支部)	連合大会(支部)	講習会(支部)	見学会(支部)	年次大会(支部)	年次大会
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7,163,563	937,476	0	0	0	13,692,674	0	2,271,224	527,500	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	937,476	0	0	0	937,476	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	527,500	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	5,573,155	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	18,480	0	0	0	0	0	0
7,163,563	0	0	0	0	7,163,563	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	2,271,224	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-9,328	0	0	0	70,000	254,677	0	187,992	0	0	0	0
0	0	0	0	0	23,450	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-9,328	0	0	0	70,000	60,672	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	187,992	0	0	0	0
0	0	0	0	0	170,555	0	0	0	0	0	0
7,154,235	937,476	0	0	70,000	13,947,351	0	2,459,216	527,500	0	0	0
457,298	366,886	0	0	17,065,631	20,684,317	170,468	2,870,876	234,338	0	0	0
0	0	0	0	11,264,415	11,264,415	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2,138,078	2,138,078	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1,830,622	1,830,622	0	0	0	0	0	0
3,390	0	0	0	0	3,390	0	0	0	0	0	0
23,571	0	0	0	18,438	361,621	0	7,224	1,110	0	0	0
235,692	0	0	0	0	235,692	0	0	0	0	0	0
133,570	0	0	0	0	133,570	0	17,413	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	366,226	0	0	16,910	2,858,026	0	198,000	0	0	0	0
0	0	0	0	1,125,717	1,125,717	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	185,334	185,334	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	121,120	50,000	44,658	0	0	0
0	0	0	0	463,328	463,328	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	185,350	0	0	0
0	0	0	0	0	0	49,348	701,163	3,000	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55,000	0	0	0	0	55,000	0	0	0	0	0	0
6,075	660	0	0	0	6,735	0	1,183,150	220	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	3,450	0	0	0	0
0	0	0	0	22,789	22,789	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	710,476	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
457,298	366,886	0	0	17,065,631	20,684,317	170,468	2,870,876	234,338	0	0	0
6,696,937	570,590	0	0	-16,995,631	-6,736,966	-170,468	-411,660	293,162	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6,696,937	570,590	0	0	-16,995,631	-6,736,966	-170,468	-411,660	293,162	0	0	0
0	0	0	0	70,000	70,000	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	70,000	70,000	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	58,400	58,400	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	58,400	58,400	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	11,600	11,600	0	0	0	0	0	0
6,696,937	570,590	0	0	-16,984,031	-6,725,366	-170,468	-411,660	293,162	0	0	0
94,009,227	9,525,452	-797,755	-592,076	-74,483,106	65,421,591	-2,789,116	-8,168,129	1,527,889	-898,214	-99,420	18,111,407
100,706,164	10,096,042	-797,755	-592,076	-91,467,137	58,696,225	-2,959,584	-8,579,789	1,821,051	-898,214	-99,420	18,111,407
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100,706,164	10,096,042	-797,755	-592,076	-91,467,137	58,696,225	-2,959,584	-8,579,789	1,821,051	-898,214	-99,420	18,111,407

その他会計(公)									法人会計		
冬季大会	講習会関係	SMPTE日本会合	国際講演会	講演会	共通(支部)	科学博物館展示	共通	小　計	法人会計	法人会計(支部)	小　計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,864	0	46,864
0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,864	0	46,864
0	0	0	0	0	0	0	0	0	662,861	0	662,861
0	0	0	0	0	0	0	0	0	662,861	0	662,861
0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,000	0	21,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,000	0	21,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,819,200	0	48,819,200
0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,174,200	0	25,174,200
0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,925,000	0	21,925,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	720,000	0	720,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
2,313,600	0	0	0	0	0	0	0	5,112,324	0	6,068,248	6,068,248
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2,313,600	0	0	0	0	0	0	0	2,313,600	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	527,500	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,051,000	6,051,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,248	17,248
0	0	0	0	0	0	0	0	2,271,224	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	722,000	0	722,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	722,000	0	722,000
0	0	0	0	0	0	0	0	187,992	3,376,594	26	3,376,620
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	516	26	542
0	0	0	0	0	0	0	0	0	39,000	0	39,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,337,078	0	3,337,078
0	0	0	0	0	0	0	0	187,992	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2,313,600	0	0	0	0	0	0	0	5,300,316	53,648,519	6,068,274	59,716,793
370,815	0	0	0	0	322,383	0	4,054,740	8,023,620	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	3,644,955	3,644,955	0	0	0
19,332	0	0	0	0	0	0	0	19,332	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	151,040	151,040	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5,258	0	0	0	0	0	0	3,053	16,645	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9,273	0	0	0	0	68,640	0	0	95,326	0	0	0
0	0	0	0	0	117,783	0	0	117,783	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	1,727	199,727	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	186,412	186,412	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	31,811	31,811	0	0	0
185,345	0	0	0	0	0	0	0	401,123	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	31,720	31,720	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	185,350	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	753,511	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55,000	0	0	0	0	0	0	0	55,000	0	0	0
62,671	0	0	0	0	135,960	0	0	1,382,001	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	3,450	0	0	0
33,936	0	0	0	0	0	0	4,022	37,958	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	710,476	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,168,250	5,681,708	31,849,958
0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,772,598	0	8,772,598
0	0	0	0	0	0	0	0	0	541,862	0	541,862
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,258,036	0	1,258,036
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,292,339	0	1,292,339
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,100	0	1,100
0	0	0	0	0	0	0	0	0	98,095	33,778	131,873
0	0	0	0	0	0	0	0	0	286,550	0	286,550
0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,500	0	3,500
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,497,100	0	1,497,100
0	0	0	0	0	0	0	0	0	324,308	0	324,308
0	0	0	0	0	0	0	0	0	149,538	0	149,538
0	0	0	0	0	0	0	0	0	146,945	0	146,945
0	0	0	0	0	0	0	0	0	155,034	25,383	180,417
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,516,066	2,256,839	4,772,905
0	0	0	0	0	0	0	0	0	132,266	28,630	160,896
0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,176,615	0	2,176,615
0	0	0	0	0	0	0	0	0	462,598	0	462,598
0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,051,000	0	6,051,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,708	0	32,708
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,337,078	3,337,078
0	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	199,992	0	199,992
370,815	0	0	0	0	322,383	0	4,054,740	8,023,620	26,168,250	5,681,708	31,849,958
1,942,785	0	0	0	0	−322,383	0	−4,054,740	−2,723,304	27,480,269	386,566	27,866,835
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,942,785	0	0	0	0	−322,383	0	−4,054,740	−2,723,304	27,480,269	386,566	27,866,835
0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,747,000	0	1,747,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,762,000	0	1,762,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,500	0	21,500
0	0	0	0	0	0	0	0	0	939,600	0	939,600
0	0	0	0	0	0	0	0	0	915,900	0	915,900
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,877,000	0	1,877,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0	−115,000	0	−115,000
1,942,785	0	0	0	0	−322,383	0	−4,054,740	−2,723,304	27,365,269	386,566	27,751,835
7,844,975	713,379	979,571	261,134	199,842	−903,822	−207,674	−28,671,791	−12,099,969	394,119,647	11,788,828	405,908,475
9,787,760	713,379	979,571	261,134	199,842	−1,226,205	−207,674	−32,726,531	−14,823,273	421,484,916	12,175,394	433,660,310
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9,787,760	713,379	979,571	261,134	199,842	−1,226,205	−207,674	−32,726,531	−14,823,273	421,484,916	12,175,394	433,660,310

（単位：円）

内部消去		合　計
一般事業	小　計	
0	0	46,864
0	0	46,864
0	0	662,861
0	0	662,861
0	0	21,000
0	0	21,000
0	0	48,819,200
0	0	25,174,200
0	0	21,925,000
0	0	720,000
0	0	1,000,000
-6,068,248	-6,068,248	25,031,988
0	0	4,681,490
0	0	937,476
0	0	2,313,600
0	0	527,500
0	0	1,545,500
0	0	5,573,155
0	0	18,480
0	0	7,163,563
-6,051,000	-6,051,000	0
-17,248	-17,248	0
0	0	2,271,224
0	0	150,000
0	0	150,000
0	0	722,000
0	0	722,000
-3,337,078	-3,337,078	863,953
0	0	23,450
0	0	542
0	0	477,894
-3,337,078	-3,337,078	0
0	0	187,992
0	0	174,075
-9,405,326	-9,405,326	76,317,866
0	0	55,720,280
0	0	20,608,709
0	0	409,646
0	0	2,955,391
0	0	2,828,761
0	0	3,390
0	0	2,698,470
0	0	235,692
0	0	738,883
0	0	117,783
0	0	10,096,411
0	0	4,095,525
0	0	562,783
0	0	592,376
0	0	704,400
0	0	278,381
0	0	787,967
0	0	60,000
0	0	110,000
0	0	6,156,755
0	0	796,521
0	0	171,960
0	0	710,476
-9,405,326	-9,405,326	22,444,632
0	0	8,772,598
0	0	541,862
0	0	1,258,036
0	0	1,292,339
0	0	1,100
0	0	131,873
0	0	286,550
0	0	3,500
0	0	1,497,100
0	0	324,308
0	0	149,538
0	0	146,945
0	0	180,417
0	0	4,772,905
0	0	160,896
0	0	2,176,615
0	0	462,598
-6,051,000	-6,051,000	0
-17,248	-17,248	15,460
-3,337,078	-3,337,078	0
0	0	70,000
0	0	199,992
-9,405,326	-9,405,326	78,164,912
0	0	-1,847,046
0	0	0
0	0	-1,847,046
0	0	85,000
0	0	1,747,000
0	0	1,832,000
0	0	79,900
0	0	939,600
0	0	915,900
0	0	1,935,400
0	0	-103,400
0	0	-1,950,446
0	0	200,406,803
0	0	198,456,357
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	198,456,357

財産目録

2022年 3月31日現在

一般社団法人映像情報ﾒﾃﾞｨｱ学会　　（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	40,676
	預金	当座預金		8,602,582
		みずほ新橋		8,097,372
		みずほ青山		505,210
		普通預金		38,902,109
		みずほ新橋①		-752,736
		みずほ新橋②		322,682
		みずほ支部		558,293
		三井住友銀行		22,174,988
		三菱UFJ信託		2,296,453
		住友信託銀行		1,511,811
		北海道支部		286,618
		東北支部		186,843
		関西支部		930,884
		東海支部		360,223
		中国支部		356,711
		九州支部		412,210
		四国支部		360,573
		北陸支部		212,138
		大和証券		9,684,418
		郵便振替貯金		3,756,691
		郵便振替貯金①		3,587,058
		郵便貯金･普通		169,633
		定期預金		403,081
		みずほ新橋		403,081
	未収会費			1,171,200
	入会金			2,000
	正学会員会費			1,029,200
	維持会員会費			100,000
	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ会費			40,000
	未収金			3,618,714
	会誌・広告			40,040
	技報予約			1,198,100
	技報別刷			68,400
	技報ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰ			42,480
	ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ			956,375
	年次大会			103,860
	冬季大会			327,300
	MTA			283,720
	和文論文掲載			164,160
	研究会			360,250
	その他			74,029
	棚卸資産			11,387,403
	ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ完成品			10,619,118
	会誌50CD-ROM			768,285
	貯蔵品			359,500
	有価証券			5,000,000
	立替金			26,213
	その他			26,213
	仮払金			398,750
	その他			398,750
	貸倒引当金			-79,900
流動資産合計				73,587,019
（固定資産）				
基本財産				3,000,000
	定期預金			3,000,000
	定期預金(一般)			3,000,000
特定資産				143,316,677
	退職給付引当資産			10,768,414
	みずほ銀行支部			979
	大和証券			3,253,000
	三菱UFJ信託普通			3,564,680
	みずほ新橋①			1,259,000
	住友信託銀行			382,249

	三井住友銀行			2,308,506
	選奨基金			15,955,528
	みずほ銀行当座			955,528
	大和証券			15,000,000
	啓発普及基金			14,000,000
	みずほ銀行①			4,000,000
	大和証券			10,000,000
	研究・特別企画基金			26,597,768
	大和証券			20,000,000
	住友信託			4,253,683
	みずほ新橋②			2,344,085
	記念事業特定資			35,850,294
	郵便振替口座			8,167,940
	三井住友銀行			2,682,354
	大和証券			25,000,000
	会誌活性化等特定資産			29,871,500
	大和証券			29,000,000
	三菱UFJ信託普通			517,922
	みずほ青山当座			353,578
	事務局設備特定資産			860,310
	三菱UFJ信託			860,310
	鈴木記念賞特定			1,735,507
	みずほ当座			316,241
	三井住友			1,419,266
	発展事業基金			7,677,356
	みずほ銀行①			852,768
	郵便振替口座			6,824,588
その他固定資産				1,831,504
	ソフトウエア			116,703
	什器備品			1
	保証金			1,714,800
固定資産合計				148,148,181
資産合計				221,735,200
(流動負債)				
	未払金			788,799
	会誌作成費			14,190
	ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ			18,573
	会誌編集			40,810
	調査研究			19,617
	会誌発送			340,775
	技報発送費			39,370
	表彰・ｺﾝｸｰﾙ			9,690
	Web-IT・会員管理ｼｽﾃﾑ			41,800
	支部			178,192
	その他			85,782
	前受会費			790,900
	入会金			500
	正学会員会費			290,400
	維持会員会費			500,000
	預り金			249,408
	源泉所得税預り金			40,810
	住民税預り金			157,700
	健康保険預り			19,788
	厚生年金預り金			31,110
	賞与引当金			3,494,565
	未払法人税等			70,000
	未払消費税等			634,400
流動負債合計				6,028,072
(固定負債)				
	退職給付引当金			17,250,771
固定負債合計				17,250,771
負債合計				23,278,843
正味財産				198,456,357

財務諸表に対する注記

1．継続事業の前提に関する注記

該当すべき事項はありません。

2．重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・無形固定資産・一括償却資産

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、期末債権残高に一定率を乗じて算出した額を計上している。

賞与引当金・・・翌期支払賞与の当該期間に相当する金額を計上している。

退職給付引当金・・・期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式により処理している。

3．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
選奨基金	16,130,806	0	175,278	15,955,528
470 退職給付引当資産	12,515,414	0	1,747,000	10,768,414
社会貢献活動基金	14,000,000	0	0	14,000,000
研究・特別企画基金	26,597,768	0	0	26,597,768
発展事業基金	6,988,064	689,292	0	7,677,356
特定資産支出				
記念事業特定資産	35,850,294	0	0	35,850,294
会誌活性化等特定資産	31,871,500	0	2,000,000	29,871,500
事務局設備引当資産	860,310	0	0	860,310
鈴木記念賞特定資産	1,755,175	0	19,668	1,735,507
小計	146,569,331	689,292	3,941,946	143,316,677
合計	149,569,331	689,292	3,941,946	146,316,677

4．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000		3,000,000	
小計	3,000,000		3,000,000	
特定資産				
選奨基金	15,955,528		15,955,528	
退職給付引当資産	10,768,414			10,768,414
社会貢献活動基金	14,000,000		14,000,000	
研究・特別企画基金	26,597,768		26,597,768	
発展事業基金	7,677,356		7,677,356	
特定資産支出				
記念事業特定資産	35,850,294		35,850,294	
会誌活性化等特定資産	29,871,500		29,871,500	
事務局設備引当資産	860,310		860,310	
鈴木記念賞特定資産	1,735,507		1,735,507	
小計	143,316,677		132,548,263	10,768,414
合計	146,316,677		135,548,263	10,768,414

5．固定資産の取得価額、増減、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
ソフトウエア	3,924,615	3,807,912	116,703
その他工具備品	966,000	965,999	1
合計	4,890,615	4,773,911	116,704

6．重要な後発事象

該当なし。

附属明細書

1．基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	基本財産	3,000,000	0	0	3,000,000
	基本財産計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産					
	選奨基金	16,130,806	0	175,278	15,955,528
	退職給付引当資産	12,515,414	0	1,747,000	10,768,414
	社会貢献活動基金	14,000,000	0	0	14,000,000
	研究・特別企画基金	26,597,768	0	0	26,597,768
	発展事業基金	6,988,064	689,292	0	7,677,356
	設備拡充等特定資産	0	0	0	0
	記念事業特定資産	35,850,294	0	0	35,850,294
	会誌活性化等特定資産	31,871,500	0	2,000,000	29,871,500
	事務局設備引当資産	860,310	0	0	860,310
	鈴木記念賞特定資産	1,755,175	0	19,668	1,735,507
	特定資産計	146,569,331	689,292	3,941,946	143,316,677

2．引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			使用目的	その他	
貸倒引当金	85,000	0	0	5,100	79,900
賞与引当金	2,578,665	915,900	0	0	3,494,565
退職給付引当金	16,531,344	719,427	0	0	17,250,771
引当金計	19,110,009	1,635,327	0	5,100	20,745,336

監 査 報 告

２０２２年5月１０日

一般社団法人　映像情報メディア学会

会 長　　田 中 孝 司 殿

一般社団法人　映像情報メディア学会

監　事　　伊 藤 泰 宏

監　事　　出 葉 義 治

私たち監事は、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

１．監査の方法及びその内容

理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、理事の業務執行の妥当性を検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等の監査を実施しました。

２．監査の結果

(1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以　上

２０２２年度役員改選選挙結果

２０２２年度役員改選選挙は、名誉会員および正会員の投票により行われ、以下の方々を選出した。なお、理事の担務は５月２７日開催の臨時理事会において協議のうえ正式に確定する。

＜投票期間：２月１９日（土）０時～３月１８日（金）２４時＞

次期会長　　：児玉圭司（ＮＨＫ）
副会長（本部）：苗村　健（東京大学）
副会長（支部）：吉田俊之（福井大学）
編集長　　：谷口行信（東京理科大学）
総務担当理事　：山下誉行（ＮＨＫ）
会計担当理事　：上原伸一（ＡＧＣ）
調査担当理事　：笹出晋司（フジテレビジョン）
編集担当理事　：河合吉彦（ＮＨＫ）
企画担当理事　：和泉田智志（日本テレビ放送網）
監事　　：池田哲臣（ＮＨＫテクノロジーズ）

２０２２年度事業計画

１ はじめに（担当：川田総務担当理事）

コロナ禍も丸 2 年を経過し，3 年目に入りましたが，残念ながら未だはっきりとした終息が見通せない状況にあります．その中でも東京と北京のオリンピック・パラリンピックは無事終了し，「with コロナ」の生活に世界の人々が適応しつつある状況です．一方でユーラシア大陸では戦乱が起こっており，世界中の国々の経済・社会に影響を及ぼしつつあります．その戦況は放送メディア・ネットメディアによってまさにリアルタイムで世界中に伝えられつつありますが，それを縁の下の力持ちとして支えているのが映像情報メディア技術であることは言うまでもありません．「真実」を伝える方法としての映像情報メディアが，今ほど求められているときはないといえましょう．本会は，このように重要な社会的意義のある技術を専門に扱う我が国随一の学会として，今年度も積極的に活動をしてまいります．

会誌はもとより，年次大会や研究会，講習会の場を通して，本分野の技術レベルをなお一層引き上げるとともに，研究者間のネットワーキングを強力にサポートいたします．これらは，過去２年間はコロナ禍でオンライン開催が中心でしたが，今年度は対面開催も復活し，オンラインとのハイブリッドでの運営もどのようなやり方が最適か，工夫していきます．研究をスムーズに進めるうえで大変好評なテストチャートの頒布も，引き続き進めていきます．

近年の課題である会員数の減少傾向は，依然として継続しています．これに対し今年度は，オプションを増やしたアカデミックパートナー制度を有効に活用し，多くの学生さんに学会を知っていただき興味を持っていただくところから始めたいと考えています．

3 つの基本施策である「学会の活性化」，「新分野の開拓」，「広報活動と会員サービスの拡充」を２０２２年度はさらに充実させて，学会事業を運営してまいります．

【２０２２年度基本施策】

１－１ 学会の活性化

2022 年度の学会運営体制は，17 名の理事を中心メンバーとして目的ごとに設置した 11 の委員会を実行部隊とし，理事会との情報共有を密に図りながら活動を進めていきます．各委員会が活動の中心となり，それぞれ 2021 年度に取り纏めたアクションプランと申し継ぎ事項を参考にしながら活発な学会活動と課題解決に取り組みます．また理事会に関しては全理事および監事が出席する定例理事会の開催回数を 8 回と維持し，また，ハイブリッド／リモート開催を積極的に利用して，各理事の負担を緩和しつつ重要案件を集中的に審議するとともに，支部長や代表代議員の参加も求め，理事，支部，代議員一体となった運営を進めていきます．

2021 年度の予算は，会費収入や年次大会の不実施による収入減や学会ホームページに使用しているサーバー更新による支出増などにより，敢えて約 1 千百万円の赤字編成でスタートしましたが，学会のオンライン開催が継続したこと等により予定より支出が増えず，一方，テストチャート頒布収入が予算案の目標値に達したことから，最終的には約 2 百万円の赤字で着地しま

した．2022 年度はオンサイト・ハイブリッド開催が増える見込みであり，昨年度に引き続き赤字予算を編成しています．

学会活性化の最重要課題である会員増のため，昨年度改定されたアカデミックパートナー制度を最大限活用して，特に若手研究者の会員増に取り組んでいきます．同制度は，大学や高等専門学校等の研究室単位で会員登録できる制度です．従来は年間 4 万円で 10 名までの学生を登録可能でした．これに対し，選択肢を増やしてほしいとの声にこたえ，半額の LITE 版，及び逆により多くの人数を登録可能な EXTENSION 版を追加しました．本制度は他学会からも注目されており，本学会の特長の一つとなっています．本制度を利用して会員になっていただき，学生のうちから多くの方に学会に興味を持っていただければと思います．

学会の本部と地方支部の連携強化のための施策として，2021 年度は年 8 回，各支部長または支部長代理に理事会へ参加して頂き，理事会での動きを把握して頂くとともに，本部役員が支部大会に参加して直接対話する機会を設け，意識の共有を図りました．ともに，コロナ禍においてのオンライン開催となっているため，face to face の直の意見交換がやりづらいという欠点があるものの，場所，時間による制限が少ないという利点があります．2022 年度もコロナウィルス感染症の終息が完全には見えていない状況ではありますが，ハイブリッド開催等対面での意見交換の機会が持てる可能性が高くなってきました．いずれにせよ，年次大会・冬季大会・支部大会等の機会を活かし，本部と地方支部の運営や課題の共有を図ってまいります．

本会ならではの取り組みであるテストチャートの頒布事業については，2019 年 3 月 15 日より頒布を開始した 4K・8K 映像の超高精細・広色域 HDR 版標準動画像(C シリーズ)が引き続き好評を博しております．この C シリーズに新たに 6 シーケンスを追加し，また 4K スロー3 シーケンスを加え，C シリーズ第 2 版として 4 月から頒布を開始しました．さらに，高フレームレート版の標準動画像 D シリーズや 22.2 マルチチャンネル標準音源 B シリーズなど続編の制作検討を継続します．

１－２ 新分野の開拓

新分野の開拓としては，スポーツ情報処理研究委員会が，日体大の角田先生を委員長として，いよいよ本格的な活動を開始します．今年度は 3 回の研究会開催を予定し，いずれも 20-30 名の参加者数を見込んでいます．また，立体映像技術研究委員会が，映像だけではなく音声も対象に入れるべく，立体メディア技術研究委員会として生まれ変わります．

新分野開拓の一環として，国内外の関連学会との連携も引き続き強化してまいります．IEEE との MOU(Memorandum of Understanding)締結の継続により各研究委員会と IEEE Japan Council との連携開催に取り組むほか，年次大会における韓国放送メディア技術学会(KIBME: The Korean Institute of Broadcast and Media Engineers)とのジョイントセッション，ディスプレイ国際ワークショップ（ＩＤＷ２０２２）の米 SID との共催等，国際会議検討委員会において検討を進めると共に，他学会との関係維持にも努めます．

また学会誌においては,「インフォデミック時代のAIとサイバーセキュリティ」など，今後ますます重要となるAIとセキュリティ等の新規テーマの特集を組む予定です．和文論文誌においても，各研究委員会との連携強化のもと，特集号の充実・新テーマの企画に加え，Twitter及びFacebook等の新たな媒体を通した論文募集を継続します．さらに英文論文誌MTAでは，新規テーマの企画とともに幅広く投稿を勧誘し，国際発信力を高めてImpact Factor取得を目指します.

さらに，地域創生・ICT・観光等に関するイノベーションをテーマとした研究会を開催する等の活動により，新たな分野を開拓していきます.

１－３ 広報活動と会員サービスの拡充

各種SNSや学会ホームページ（本部・支部），メーリングリストを通じた情報発信は，有効な広報手段として2022年度も積極的に活用してまいります．特に支部ホームページは昨年度リニューアルし，会員の皆さんにとって見やすく，利用しやすくなっております．業界紙への広告出稿等，ターゲットを絞った効果的な広告戦略も引き続き展開します.

青少年及び社会に対する啓発普及活動の一環として，一般市民も対象とした公開講演会を，本年度年次大会の行事として検討しています．冬季大会においても，一般向けの公開講演会等の開催を検討します．また図書の企画・刊行活動の一環として，学会誌掲載の連載講座や連載シリーズの単行本化や，学会ホームページでの公開を検討します.「知っておきたいキーワード」「年報」「きらり．中のヒト」「研究開発ツール」「ベンチャービジネス」は，ホームページでの全文公開を継続します.

素晴らしい成果を上げている会員の方々に対し引き続き，丹羽高柳賞，鈴木記念奨励賞，技術振興賞，映像情報メディア未来賞，学生優秀発表賞，優秀研究発表賞を贈呈することで，奨励や表彰を行います．また昨年度改定された規程に基づき，テレビジョンを含む映像情報メディアに関する学術の発展と本学会活動に貢献された会員の中から，本会フェローを選定いたします．さらに,長年にわたり在会いただいた会員の方の会費を無料とする制度について,無料対象を拡大する「ライフメンバー制度」の創設を検討します.

２．機関誌・論文集・研究会資料等の刊行（定款 第４条（１））

（１）会誌関係

①冊子体

編集委員会（編集長：谷口行信）において，会員に新しい情報を提供するとともに，会員の研究発表の場として「映像情報メディア学会誌」を編集，発行し（隔月（奇数月)），会員に配布します．内容については，特集号を中心に企画し，下記の項目を予定しています.

また，特集以外に，タイムリーな技術解説記事，教科書的な連載講座，平易で読み物的な解説記事，年次・冬季大会との連動企画記事，研究委員会，支部との連携による解説記事など，多様な会員のニーズを満たすべく，バランスのとれた魅力的な誌面を目指します．会誌関連動

画コンテンツなど，Web サイトとの連携強化を継続して誌面の魅力向上に努めます．学会ＨＰでは＜知っておきたいキーワード＞＜年報＞＜きらり．中のヒト＞＜研究開発ツール＞＜ベンチャービジネス＞を，引き続き全文公開いたします．連載講座については，シリーズ終稿後に全文公開を行います．

昨年度からの申し継ぎの会誌の電子化については，企画委員会メンバーを対象にアンケートを行い，その結果を基に引き続き会誌電子化について検討を進めます．

（冊子体）

巻	号	通巻号	特　集 題 目 案	奥付発行年月日	発行部数
76	3	842	VR/AR/MR 研究における最前線	2022 年 5 月 1 日	3,100
76	4	843	インフォデミック時代の AI とサイバーセキュリティ（関西支部題目提案）	2022 年 7 月 1 日	3,100
76	5	844	空間オーディオ AI と放送	2022 年 9 月 1 日	3,100
76	11	845	有機ＥＬ型ディスプレイ用材料・デバイスの最新動向	2022 年 11 月 1 日	3,100
77	1	846	イマーシブ・ディスプレイ	2023 年 1 月 1 日	3,100
77	3	847	社会に役立つセンシング技術	2023 年 3 月 1 日	3,100

（２）論文関係

①和文論文

和文論文編集委員会（委員長：藤井俊彰）において，オンラインジャーナルとして冊子体送本と同時期に全文を一般公開します．内容については，下記特集を予定しています．また，各研究委員会との連携を一層強化し，特集号の充実を図り，新たな試みを企画し，論文投稿数，掲載数の確保に努力します．さらには Twitter および学会 Facebook により，継続して論文募集を行います．

（オンラインジャーナル/投稿欄）

巻	月号	特　集 題 目 案	公開年月日
76	5	一般論文	2022 年 5 月 1 日
76	7	一般論文	2022 年 7 月 1 日
76	9	一般論文	2022 年 9 月 1 日
76	11	ディスプレイ－IDW’21 を中心に－	2022 年 11 月 1 日
77	1	選奨（技術振興賞/映像情報メディア未来賞）受賞者論文（招待論文）	2023 年 1 月 1 日

77	3	一般論文	2023 年 3 月 1 日

②英語論文（ＭＴＡ）

ＭＴＡ編集委員会（委員長：藤井俊彰）において，会員のグローバルな研究発表の場としてオンラインジャーナル「ITE Transactions on Media Technology and Applications（略称，MTA)」を編集，年４回発行し，会誌発行日と同時期に全文を一般公開します．内容については，毎号特集を中心に企画し，下記を予定しています．また，新たな試みを企画し，幅広く投稿勧誘を行うなど，一定数以上の投稿数ならびに掲載数の確保に努力します．さらに，ＭＴＡの引用数の増加と国際発進力の強化を引き続き行い，Ｉmpact Ｆactor 取得を目指して努力します．

Vol., No.	Special Section Title	公開年月日
Vol.10, No.3	Multimedia Transmission Technology and Its Applications	2022 年 7 月 1 日
Vol.10, No.4	IDW’21	2022 年 10 月 1 日
	Extended Editions of IEEE ICCE and ICCE-Taiwan Submitted Papers	
Vol.11, No.1	2022 ITE Award Selection	2023 年 1 月 1 日
Vol.11, No.2	3D Media Technology	2023 年 4 月 1 日

（３）大会講演予稿集の発行

①年次大会講演予稿集（Ｗｅｂダウンロード版およびＣＤ－Ｒ版）作成．

参加予定人数：３００名

②冬季大会講演予稿集（Ｗｅｂダウンロード版およびＣＤ－Ｒ版）作成．

参加予定人数：２００名

（４）研究会資料「技術報告」の刊行

研究会資料「映像情報メディア学会技術報告」を各号約１２０部発行します．

３．調査研究活動（定款 第４条（３））

学会の最も基本的な活動である研究活動については，最近の急速な技術の進展に対処するため，例年以上に積極的に推進します．

技術委員会（委員長：伊東 晋）において，広汎かつ長期にわたる観点から研究活動の現況を把握し，研究委員会の活動を統轄調整し，その円滑な運営をはかります．研究会の活性化についても，鋭意検討を進めます．研究活動を実施するための下記委員会を置きます．

研究委員会が開催する研究会は，会員が積極的に発表・討議に参加できるよう公開開催とします．一昨年度より参加費が有料となりました．予稿はＷＥＢダウンロード配布いたします．また，研究会発表資料「映像情報メディア学会技術報告」を研究委員会別予約制により有料頒

布します．なお，冊子体の作成・発行は２０２２年度で終了し，２０２３年度よりオンライン配付に移行する予定です．

５月以降は，新型コロナウィルス感染症の影響を見極めつつ，現地開催，ハイブリッド開催，オンライン開催等の研究会開催形態を適宜選択し，実施することとします．

＜研究委員会＞

委　員　会　名	委 員 長 名
情報センシング研究委員会	秋　田　純　一
情報ディスプレイ研究委員会	都　築　俊　満
マルチメディアストレージ研究委員会	町　田　賢　司
放送技術研究委員会	斎　藤　恭　一
ヒューマンインフォメーション研究委員会	永　井　岳　大
メディア工学研究委員会	新　井　啓　之
映像表現＆コンピュータグラフィックス研究委員会	名　手　久　貴
アントレプレナー・エンジニアリング研究委員会	上　田　哲　三
立体メディア技術研究委員会	掛　谷 英　紀
スポーツ情報処理研究委員会	角　田　　貢

（１）＜研究会年間予定＞

「情報センシング研究会」委員長：秋田純一（金沢大学）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ５月１９日 ～１０日	熊本（ハイブリッド）	信号・映像・医用画像・マルチメディアデータの処理・解析と応用	３６件	20～30 名
６月２９日	オンライン	高機能イメージセンシングとその応用	未　定	20～30 名
７月	北海道 or オンライン	イメージセンサのインタフェース回路，アナログ回路	未　定	20～30 名
９月	東京 or オンライン	イメージセンサ	未　定	20～30 名
１１月	東京 or オンライン	新機能光学素子とイメージセンサ	未　定	20～30 名
２０２３年 ２月	東京 or オンライン	赤外線センサ（赤外放射の応用関連学会）	未　定	20～30 名
３月	東京 or オンライン	固体撮像技術	未　定	20～30 名

「情報ディスプレイ研究会」委員長：都築俊満（ＮＨＫ）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ８月	未定	ディスプレイ	未　定	20～30 名
１０月	未定	画像技術，VR/AR，ヒューマンファクター	未　定	20～30 名
１１月	未定	高臨場感ディスプレイフォーラム	未　定	20～30 名
２０２３年 １月	未定	発光型・非発光型ディスプレイ	未　定	20～30 名
３月	未定	ディスプレイ技術シンポジウム	未　定	20～30 名

「マルチメディアストレージ研究会」委員長：町田賢司（ＮＨＫ）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ６月　９日 １０日	宮城（ハイブリッド）	記録システム	未　定	20～30 名
１０月	未定	固体メモリ・媒体＋ヘッド・スピントロニクス	未　定	20～30 名
１２月　８日 ９日	愛媛	信号処理	未　定	20～30 名
２０２３年 ２月	北海道	ＩＴＳ画像処理，映像メディア	未　定	20～30 名

「放送技術研究会」委員長：斎藤恭一（ＮＨＫ）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ６月１０日	東京（ハイブリッド）	番組制作技術・送出技術	未　定	20～30 名
７月２８日 ２９日	北海道	放送現業技術・送受信技術	未　定	20～30 名
９月　２日	愛媛	移動送受信技術	未　定	20～30 名
１０月　６日 ７日	未定	放送・通信連携，知的マルチメディア処理システム等	未　定	20～30 名
１０月２８日	東京	放送設備見学会：ＴＢＳテレビ	未　定	20～30 名
１１月１０日 １１日	宮城	放送技術，有線技術，光技術等	未　定	20～30 名
１１月２４日 ２５日	愛知（ハイブリッド）	画像符号化・通信・ストリーム技術・放送技術	未　定	20～30 名
２０２３年 １月２０日 ２１日	福岡	アンテナ・伝搬，マイクロ波における学生若手発表	未　定	20～30 名
２月１６日 １７日	滋賀	学生・若手発表	未　定	20～30 名
３月１０日	沖縄	デジタル放送技術	未　定	20～30 名

「ヒューマンインフォメーション研究会」委員長：永井岳大（東京工業大学）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ６月１６日 １７日	オンライン	人工現実感，エンタテインメント，メディアエクスペリエンス	未　定	20～30 名
１０月	大阪 or オンライン	視聴覚	未　定	20～30 名
２０２３年 ２月	東京 or オンライン	聴覚，視覚，ＶＲ	未　定	20～30 名

計 7

３月	東京 or オンライン	視聴覚	未　定	20～30 名

「メディア工学研究会」委員長：新井啓之（日本工業大学）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ５月１９日 ２０日	熊本（ハイブリッド）	信号・映像・医用画像・マルチメディアデータの処理・解析と応用	３６件	20～30 名
７月２２日	オンライン	画像処理・マルチメディア情報処理・インタフェースとその応用	未　定	20～30 名
８月	未定	マルチメディア通信／システム，ライフログ活用技術，ＩＰ放送／映像伝送，メディアセキュリティ，メディア処理（ＡＩ，深層学習）	未　定	20～30 名
９月	未定	サマーセミナー（若葉研究者の集い）	未　定	20～30 名
１２月	未定	メディア処理技術とその応用	未　定	20～30 名
２０２３年 １月	未定	ＩＷＡＩＴ２０２３	未　定	20～30 名
２月	北海道	ＩＴＳ画像処理，映像メディア	未　定	20～30 名
２月	神奈川	学生研究発表会	未　定	20～30 名

「映像表現＆コンピューターグラフィックス研究会」委員長：名手久貴（東京工芸大）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ８月	地方 or オンライン	画像一般（色再現，立体映像，CG，VR，アニメーション技術，画像処理，ME 関係，画像符号化）	未　定	20～30 名
９月	東京 or オンライン	立体映像及びホログラフィ	未　定	20～30 名
１１月	東京 or オンライン	高臨場感ディスプレイフォーラム	未　定	20～30 名
２０２３年 １月	未定	ＩＷＡＩＴ２０２２	未　定	20～30 名
２月	北海道	ＩＴＳ画像処理，映像メディア	未　定	20～30 名
３月	東京 or オンライン	映像表現・芸術科学フォーラム２０２３（Expressive Japan 2023）	未　定	20～30 名

「アントレプレナー・エンジニアリング研究会」委員長：上田哲三（パナソニック インダストリー）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ５月 or６月	京都（予定）	先例に学ぶ危機突破のイノベーション！（地域創生，ＩＣＴ，観光）	未　定	20～30 名
９月	東京	持続可能な未来へ！	未　定	20～30 名
３月	東京	起業工学から見たイノベーションに関する研究	未　定	20～30 名

「立体メディア技術研究会」委員長：掛谷英紀（筑波大学）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ８月　８日	オンライン	シンポジウム「サイバー・フィジカル社会における映像メディア」	未　定	20～30 名
９月	東京 or オンライン	立体映像およびホログラフィー	未　定	20～30 名

計 8

１０月	東京 or オンライン	立体映像技術	未　定	20～30 名
１０月	東京 or オンライン	画像技術，VR/AR，ヒューマンファクター	未　定	20～30 名
１１月	東京 or オンライン	高臨場感ディスプレイフォーラム	未　定	20～30 名
２０２３年 ３月	東京 or オンライン	立体の視覚・生体，コンテンツ，アプリケーション，立体映像技術	未　定	20～30 名

「スポーツ情報処理研究会」委員長：角田　貢（日体大）

開催月日	場　所	特集テーマ	演題数	参加予定数
２０２２年 ６月１６日 １７日	オンライン	人工現実感，エンタテインメント，メディアエクスペリエンス	未　定	20～30 名
１２月	未定	未定	未　定	20～30 名
２０２３年 ２月	未定	未定	未　定	20～30 名

４．大会，講演会の企画開催（定款 第４条（４））

映像情報メディアに関する大会を企画し，会員のみならず，広くわが国の技術レベルを高めるべく，適正規模で開催します.

（１）２０２２年度年次大会（主催）

２０２２年８月２４日～２６日の３日間，郡山市中央公民館・勤労青年ホームにおいて開催します．Ｚｏｏｍを併用したハイブリッド開催を予定していますが，新型コロナの状況によっては完全オンライン開催となる可能性があります．　このための実行委員会（委員長 岩城正和／副会長）を置き，運営にあたります.

（２）２０２２年度冬季大会（主催）

実行委員会（委員長 苗村 健／副会長）を置き，時期・場所の検討を進めるとともに，大会の運営にあたります.

５．国際会議の企画開催（定款 第４条（４））

映像情報メディアに関する国際会議に積極的に取り組み，国外との交流を図ります.

（１）IEEE と MOU(Memorandum of Understanding)締結の継続により各研究委員会と IEEE JC との連携開催に取り組みます.

（２）第２９回ディスプレイ国際ワークショップ（ＩＤＷ２０２２）（共催）

２０２２年１２月１４日～１６日の３日間，福岡国際会議場において，アメリカＳＩＤと共催します.

（３）この他にも，国際会議検討委員会において検討を進めると共に，他学会との関係性維持にも努めてまいります.

６．ITE テストチャートの作成・頒布(定款 第４条(２))

ＩＴＥテストチャート委員会(委員長： 井口和久)を中心に次の事業展開を行います.

（１）超高精細・広色域標準動画像小委員会(主査：松田一朗)，ＡＲＩＢと共同で超高精細・広色域標準動画像Ｄシリーズ(ＨＦＲ：ハイフレームレート版,8K120P,240P)の検討を継続します.また，2022 年 4 月に頒布を開始した「超高精細・広色域 HDR 版標準動画像第２版」の普及に努めます.

（２）３次元マルチチンャネル音響標準音源小委員会(主査 小野一穂),ＡＲＩＢと共同でオブジェクトベース標準音源について継続検討し,頒布開始を目指します.

７．図書の刊行・企画（定款 第４条（２）項）

編集委員会（編集長：谷口行信）は，会誌連載講座，会誌連載シリーズなどの単行本化などを検討します．出版が困難な場合は，会員サービスとして，学会ホームページにて全文公開します.

８．研究の奨励および業績の表彰（定款 第４条（５））

（１）学会賞関係

選奨委員会（委員長：岩城正和／副会長）において，本学会にふさわしい選奨のありかた，選定方法等について検討を行います．その結論に基づき，丹羽髙柳賞，技術振興賞，鈴木記念奨励賞，映像情報メディア未来賞の諸賞を選定し，贈呈いたします．また年次大会・冬季大会で優秀な講演を行った学生・高専生を対象に，それぞれの大会実行委員会で選定し,「学生優秀発表賞」を贈呈いたします．研究会での発表を対象とした優秀発表は，各研究委員会が選定し,「優秀研究発表賞」を贈呈いたします.

①丹羽髙柳賞：功績賞：２名以内
　〃　　業績賞：２件以内
　〃　　論文賞：３編以内
②鈴木記念奨励賞：５名以内
③技術振興賞：進歩開発賞（現場運用部門）：３件以内
　〃　　進歩開発賞（研究開発部門）：３件以内
　〃　　コンテンツ技術賞：３件以内
④映像情報メディア未来賞：３件以内
⑤学生優秀発表賞：年次大会：５件以内
　〃　　冬季大会：５件以内
⑥優秀研究発表賞：１０件～１５件程度

（２）フェロー会員の認定

フェロー選定委員会（委員長：苗村 健／副会長）において，テレビジョンを含む映像情報メディアに関する学術の発展と本学会活動に貢献された正会員の中から，フェロー選出規程第 13 条第 1 項「単年度に選出されるフェロー会員数については，正会員および名誉会員の合計数の 0.2%程度を上限とする.」に基づき，フェロー会員を認定します.

９．青少年および社会に対する啓発普及（定款 第４条（７））

一般市民も対象にした公開講演会（入場無料）の開催を，２０２２年年次大会行事として検討しています．また，２０２２年度冬季大会においても，一般向け公開講演会等の開催を検討いたします.

１０．会議および委員会等（定款 第４条（８））

（１）第６９回定時社員総会：２０２３年５月２６日(金)開催

（２）理事会：６月・７月・１０月・１２月・１月・３月・４月・５月の８回開催

（年３回，会長が指名する代表代議員の参加を予定,また支部長にはオンラインによる参加を要請）

（３）広報委員会：随時開催

（４）編集関係委員会

①編集委員会（企画委員会）：年７回開催

②同（年次企画委員会）：年３回開催

③同（海外文献部門委員会）：年４回程度開催

④同（ニュース部門委員会）：記事選定のみの場合はメール審議，議案があれば委員会を開催

（５）論文委員会（和文論文運営委員会，英語論文運営委員会）：６月・１０月・２月の３回開催

（６）技術委員会：４月～３月の期間に３回～４回開催

（７）選奨関係委員会

①選奨委員会：第１回会議を 11 月に開催し，前年度申継事項および諸課題を検討

②「技術振興賞」進歩開発賞（現場運用部門）・(研究開発部門）選考専門部会：３月に開催

③「技術振興賞」コンテンツ技術賞選考専門部会：３月に開催（地方開催予定）

④映像情報メディア未来賞選考専門部会：３月に開催

⑤「丹羽髙柳賞」功績賞・業績賞・論文賞の選考

※功績賞・業績賞は推薦件数により１回または２回投票，論文賞は１回投票

⑥鈴木記念奨励賞の選考（２回投票）

（８）フェロー選定委員会：２回開催（推薦締切を 12 月末，第１回委員会は１月開催予定）

（９）テストチャート委員会：随時開催

(10) 国際連携委員会

①2022 年年次大会「KIBME とのジョイントセッション」開催

②その他，海外学会との交流

(11) 映像情報メディア発展事業資金運営委員会：随時開催

(12) 長期計画検討委員会：随時開催

(13) 電気・情報関連学会連絡協議会：７月と１月の年２回開催　　以上

2022年度予算報告書

自　　2022年　4月　1 日

至　　2023年　3月　31日

一般社団法人　映像情報メディア学会

収支予算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般社団法人映像情報ﾒﾃﾞｨｱ学会　　（単位:円）

科目	予算額	前年度予算額	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	25,000	10,000	15,000
基本財産受取利	25,000	10,000	15,000
特定資産運用益	400,000	400,000	0
特定資産受取利	400,000	400,000	0
受取入会金	20,000	20,000	0
受取入会金	20,000	20,000	0
受取会費	48,160,000	49,150,000	-990,000
正学会員会費	25,200,000	25,200,000	0
維持会員会費	21,300,000	22,250,000	-950,000
特殊会員会費	700,000	700,000	0
ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾊﾟｰﾄﾅｰ	960,000	1,000,000	-40,000
事業収益	22,306,000	20,064,000	2,242,000
会誌関係収入	3,460,000	3,480,000	-20,000
会誌頒布収入	900,000	900,000	0
年次大会	3,000,000	0	3,000,000
冬季大会収入	1,200,000	1,400,000	-200,000
講習会収入	500,000	660,000	-160,000
研究会収入	1,000,000	1,000,000	0
技術報告収入	5,726,000	5,774,000	-48,000
図書関係収入	0	30,000	-30,000
ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ収入	6,520,000	6,820,000	-300,000
受取寄付金	500,000	500,000	0
発展事業寄付金	500,000	500,000	0
雑収益	201,000	450,000	-249,000
受取利息	1,000	50,000	-49,000
雑収益	200,000	400,000	-200,000
経常収益計	71,612,000	70,594,000	1,018,000
(2) 経常費用			
事業費	60,048,500	56,430,000	3,618,500
給料手当	18,938,300	18,938,000	300
派遣賃金	680,000	550,000	130,000
福利厚生費	2,274,800	2,275,000	-200
旅費交通費	700,000	385,000	315,000
通信運搬費	3,722,900	3,820,000	-97,100
消耗品費	1,189,600	1,294,000	-104,400
修繕費	200,000	200,000	0
印刷製本費	15,401,500	13,163,600	2,237,900
賃借料	6,025,000	4,832,000	1,193,000
支払リース料	633,300	634,000	-700
諸謝金	940,000	740,000	200,000
会議費	798,000	653,000	145,000
支払負担金	785,000	855,000	-70,000
広告宣伝費	100,000	100,000	0
委託費	4,518,400	4,818,400	-300,000
図書費	900,000	900,000	0
雑費	241,700	272,000	-30,300
法人税等	2,000,000	2,000,000	0
管理費	23,468,600	25,433,000	-1,964,400
給料手当	8,062,000	8,812,000	-750,000
派遣賃金	250,000	400,000	-150,000
退職給付費	450,000	450,000	0
福利厚生費	975,200	1,225,000	-249,800
旅費交通費	272,000	262,000	10,000
通信運搬費	271,300	274,000	-2,700
消耗品費	285,000	577,000	-292,000
修繕費	255,000	245,000	10,000
賃借料	1,508,100	1,508,000	100
支払リース料	367,000	367,000	0
諸会費	200,000	200,000	0
租税公課	100,000	300,000	-200,000
会議費	1,306,000	1,131,000	175,000
支払負担金	350,000	350,000	0
広告宣伝費	329,000	384,000	-55,000
委託費	5,045,000	5,145,000	-100,000
雑費	423,000	383,000	40,000
Ｗｅｂ－ＩＴ	2,100,000	2,500,000	-400,000
会員管理費	600,000	600,000	0
発展事業資金活	250,000	250,000	0
法人税等	70,000	70,000	0
経常費用計	83,517,100	81,863,000	1,654,100
評価損益等調整前当期経常増減額	-11,905,100	-11,269,000	-636,100
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-11,905,100	-11,269,000	-636,100
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-11,905,100	-11,269,000	-636,100
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	-11,905,100	-11,269,000	-636,100
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	-11,905,100	-11,269,000	-636,100

収支予算書内訳表

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般社団法人映像情報ﾒﾃﾞｨｱ学会

科目	実施事業				その他会計(収)		
	会誌関係事業	研究会関係事業	表彰、ｺﾝｸｰﾙ	共通	技術報告関係	図書関係	ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ関係
Ⅰ 一般正味財産増減の部							
1．経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	140,000	80,000	60,000	0	0	0	0
特定資産受取利	140,000	80,000	60,000	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0
正会員会費	0	0	0	0	0	0	0
維持会員会費	0	0	0	0	0	0	0
特殊会員会費	0	0	0	0	0	0	0
ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾊﾟｰﾄﾅｰ	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	3,460,000	1,000,000	0	0	5,726,000	0	6,520,000
会誌関係収入	3,460,000	0	0	0	0	0	0
会誌頒布収入	0	0	0	0	0	0	0
年次大会収入	0	0	0	0	0	0	0
冬季大会収入	0	0	0	0	0	0	0
講習会収入	0	0	0	0	0	0	0
研究会収入	0	1,000,000	0	0	0	0	0
技術報告収入	0	0	0	0	5,726,000	0	0
ﾃｽﾄﾁｬｰﾄ収入	0	0	0	0	0	0	6,520,000
本部交付金	0	0	0	0	0	0	0
研究会等補助金収入	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
発展事業寄付金	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	3,600,000	1,080,000	60,000	0	5,726,000	0	6,520,000
(2) 経常費用							
事業費	26,227,500	4,662,000	2,025,800	160,000	3,070,000	0	440,000
給料手当	3,694,200	561,000	982,300	0	0	0	0
派遣賃金	350,000	100,000	0	0	0	0	0
福利厚生費	493,600	75,000	131,200	0	0	0	0
旅費交通費	10,000	0	0	0	0	0	10,000
通信運搬費	2,742,200	109,400	62,500	0	370,000	0	180,000
消耗品費	409,500	151,400	192,600	0	0	0	150,000
修繕費	200,000	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	11,862,500	100,000	0	0	2,700,000	0	50,000
賃借料	986,400	2,683,000	583,900	0	0	0	0
支払リース料	273,600	41,500	72,700	0	0	0	0
諸謝金	30,000	200,000	0	0	0	0	0
会議費	0	288,000	0	0	0	0	0
支払分担金	0	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	50,000
委託費	4,373,400	125,000	0	0	0	0	0
図書費	800,000	100,000	0	0	0	0	0
雑費	2,100	127,700	600	0	0	0	0
法人税等	0	0	0	160,000	0	0	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0
派遣賃金	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0
支払リース料	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0
支払分担金	0	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0
Ｗｅｂ－ＩＴ	0	0	0	0	0	0	0
会員管理費	0	0	0	0	0	0	0
支部交付金	0	0	0	0	0	0	0
発展事業資金活	0	0	0	0	0	0	0
法人税等	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	26,227,500	4,662,000	2,025,800	160,000	3,070,000	0	440,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-22,627,500	-3,582,000	-1,965,800	-160,000	2,656,000	0	6,080,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-22,627,500	-3,582,000	-1,965,800	-160,000	2,656,000	0	6,080,000
2．経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-22,627,500	-3,582,000	-1,965,800	-160,000	2,656,000	0	6,080,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	-22,627,500	-3,582,000	-1,965,800	-160,000	2,656,000	0	6,080,000
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	-22,627,500	-3,582,000	-1,965,800	-160,000	2,656,000	0	6,080,000

（単位：円）

		その他会計(公)				法人会計	本部合計	支部合計	内部消去	合　計
会誌頒布	共通	年次大会	冬季大会	講演会	共通	法人会計			一般事業	
0	0	0	0	0	0	25,000	25,000	0	0	25,000
0	0	0	0	0	0	25,000	25,000	0	0	25,000
0	0	0	0	0	0	120,000	400,000	0	0	400,000
0	0	0	0	0	0	120,000	400,000	0	0	400,000
0	0	0	0	0	0	20,000	20,000	0	0	20,000
0	0	0	0	0	0	20,000	20,000	0	0	20,000
0	0	0	0	0	0	48,160,000	48,160,000	0	0	48,160,000
0	0	0	0	0	0	25,200,000	25,200,000	0	0	25,200,000
0	0	0	0	0	0	21,300,000	21,300,000	0	0	21,300,000
0	0	0	0	0	0	700,000	700,000	0	0	700,000
0	0	0	0	0	0	960,000	960,000	0	0	960,000
900,000	0	3,000,000	1,200,000	0	0	0	21,806,000	6,606,000	-6,106,000	22,306,000
0	0	0	0	0	0	0	3,460,000	0	0	3,460,000
900,000	0	0	0	0	0	0	900,000	0	0	900,000
0	0	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000	0	0	3,000,000
0	0	0	1,200,000	0	0	0	1,200,000	0	0	1,200,000
0	0	0	0	0	0	0	0	500,000	0	500,000
0	0	0	0	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
0	0	0	0	0	0	0	5,726,000	0	0	5,726,000
0	0	0	0	0	0	0	6,520,000	0	0	6,520,000
0	0	0	0	0	0	0	0	6,076,000	-6,076,000	0
0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	-30,000	0
0	0	0	0	0	0	500,000	500,000	0	0	500,000
0	0	0	0	0	0	500,000	500,000	0	0	500,000
0	0	0	0	0	0	201,000	201,000	0	0	201,000
0	0	0	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000
0	0	0	0	0	0	200,000	200,000	0	0	200,000
900,000	0	3,000,000	1,200,000	0	0	49,026,000	71,112,000	12,712,000	-12,212,000	71,612,000
										0
0	15,865,000	1,700,000	800,000	0	2,893,200	0	57,843,500	2,205,000	0	60,048,500
0	11,357,800	0	0	0	2,343,000	0	18,938,300	0	0	18,938,300
0	0	150,000	80,000	0	0	0	680,000	0	0	680,000
0	1,305,600	0	0	0	269,400	0	2,274,800	0	0	2,274,800
0	0	300,000	0	0	0	0	320,000	380,000	0	700,000
0	19,800	60,000	80,000	0	4,000	0	3,627,900	95,000	0	3,722,900
0	9,200	90,000	50,000	0	1,900	0	1,054,600	135,000	0	1,189,600
0	0	0	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000
0	24,000	150,000	100,000	0	5,000	0	14,991,500	410,000	0	15,401,500
0	1,095,700	400,000	50,000	0	226,000	0	6,025,000	0	0	6,025,000
0	203,500	0	0	0	42,000	0	633,300	0	0	633,300
0	0	250,000	300,000	0	0	0	780,000	160,000	0	940,000
0	0	200,000	90,000	0	0	0	578,000	220,000	0	798,000
0	0	0	0	0	0	0	0	785,000	0	785,000
0	0	50,000	0	0	0	0	100,000	0	0	100,000
0	0	0	0	0	0	0	4,498,400	20,000	0	4,518,400
0	0	0	0	0	0	0	900,000	0	0	900,000
0	9,400	50,000	50,000	0	1,900	0	241,700	0	0	241,700
0	1,840,000	0	0	0	0	0	2,000,000	0	0	2,000,000
0	0	0	0	0	0	25,173,600	25,173,600	4,401,000	-6,106,000	23,468,600
0	0	0	0	0	0	8,062,000	8,062,000	0	0	8,062,000
0	0	0	0	0	0	250,000	250,000	0	0	250,000
0	0	0	0	0	0	450,000	450,000	0	0	450,000
0	0	0	0	0	0	975,200	975,200	0	0	975,200
0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	172,000	0	272,000
0	0	0	0	0	0	131,300	131,300	140,000	0	271,300
0	0	0	0	0	0	220,000	220,000	65,000	0	285,000
0	0	0	0	0	0	50,000	50,000	205,000	0	255,000
0	0	0	0	0	0	1,508,100	1,508,100	0	0	1,508,100
0	0	0	0	0	0	367,000	367,000	0	0	367,000
0	0	0	0	0	0	200,000	200,000	0	0	200,000
0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0	0	100,000
0	0	0	0	0	0	455,000	455,000	851,000	0	1,306,000
0	0	0	0	0	0	0	0	350,000	0	350,000
0	0	0	0	0	0	329,000	329,000	0	0	329,000
0	0	0	0	0	0	2,500,000	2,500,000	2,545,000	0	5,045,000
0	0	0	0	0	0	350,000	350,000	73,000	0	423,000
0	0	0	0	0	0	2,100,000	2,100,000	0	0	2,100,000
0	0	0	0	0	0	600,000	600,000	0	0	600,000
0	0	0	0	0	0	6,106,000	6,106,000	0	-6,106,000	0
0	0	0	0	0	0	250,000	250,000	0	0	250,000
0	0	0	0	0	0	70,000	70,000	0	0	70,000
0	15,865,000	1,700,000	800,000	0	2,893,200	25,173,600	83,017,100	6,606,000	-6,106,000	83,517,100
900,000	-15,865,000	1,300,000	400,000	0	-2,893,200	23,852,400	-11,905,100	0	0	-11,905,100
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
900,000	-15,865,000	1,300,000	400,000	0	-2,893,200	23,852,400	-11,905,100	0	0	-11,905,100
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
							0			0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
900,000	-15,865,000	1,300,000	400,000	0	-2,893,200	23,852,400	-11,905,100	0	0	-11,905,100
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
900,000	-15,865,000	1,300,000	400,000	0	-2,893,200	23,852,400	-11,905,100	0	0	-11,905,100
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
900,000	-15,865,000	1,300,000	400,000	0	-2,893,200	23,852,400	-11,905,100	0	0	-11,905,100

2022年度 予算-支部合算－

（単位:円）

科　　目	要求合計額	備　　考
Ⅰ. 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
本部交付金	6,076,000	
研究会等補助金収入	30,000	
事業収入	500,000	
連合大会	0	
講習会収入	500,000	
講演会収入	0	
見学会収入	0	
年次大会	0	
雑収入	0	
連合大会繰入金	0	
事業活動収入計	6,606,000	
2. 事業活動支出		
事業費支出	2,760,000	
連合関係費	810,000	
講習会費	210,000	
講演会費	680,000	
見学会費	240,000	
研究会費	155,000	
年次大会費	110,000	
支部ホームページ	205,000	
その他事業費	350,000	
管理費支出	3,846,000	
交通費	172,000	
通信費	140,000	
消耗品費	65,000	
会議費	13,000	
総会費	326,000	
役職会費	185,000	
支部長会議費	327,000	
委託経費	2,545,000	
雑費	73,000	
事業活動費支出計	6,606,000	
事業活動収支差額	0	
Ⅱ. 投資活動収支の部		
1. 投資活動収入		
各種発基金取崩収入	0	
引当金戻入収入	0	
発展事業資金収入	0	
投資活動収入計	0	
2. 投資活動支出		
各種基金取得支出	0	
引当金繰入支出	0	
発展事業資金繰入支出	0	
投資活動支出計	0	
投資活動収支差額	0	
Ⅲ. 財務活動収支の部		
1. 財務活動収入	0	
2. 財務活動支出	0	
財務活動収支差額	0	
Ⅳ. 予備費支出	0	
当期予算収支差額	0	
前期繰越予算収支差額	0	
次期繰越予算収支差額	0	

2022年度　予算-支部明細

科　　目	北海道	東北	北陸	東海	関西
2021年(参考)	550,000	442,000	320,000	450,000	3,010,000
Ⅰ. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
本部交付金	550,000	517,000	320,000	400,000	2,980,000
研究会等補助金収入	0	0	0	0	30,000
事業収入	0	0	0	0	500,000
連合大会	0	0	0	0	0
講習会収入	0	0	0	0	500,000
講演会収入	0	0	0	0	0
見学会収入	0	0	0	0	
年次大会	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0
連合大会繰入金	0	0	0	0	0
事業活動収入計	550,000	517,000	320,000	400,000	3,510,000
2. 事業活動支出					
①事業費支出	350,000	400,000	130,000	320,000	790,000
連合関係費	100,000	130,000	30,000	40,000	200,000
講習会費	0	10,000	0	0	200,000
講演会費	250,000	110,000	40,000	30,000	70,000
見学会費	0	40,000	0	200,000	0
研究会費	0	5,000	30,000	0	0
年次大会費	0	60,000	0	0	0
支部ホームページ	0	5,000	0	0	200,000
その他事業費	0	40,000	30,000	50,000	120,000
②管理費支出	200,000	117,000	190,000	80,000	2,720,000
交通費	0	2,000	40,000	20,000	0
通信費	20,000	10,000	10,000	0	25,000
消耗品費	25,000	15,000	0	5,000	0
会議費	0	3,000	0	0	0
総会費	15,000	54,000	80,000	20,000	70,000
役職会費	15,000	5,000	25,000	5,000	75,000
支部長会議費	120,000	22,000	25,000	20,000	0
委託経費	5,000	3,000	10,000	10,000	2,500,000
雑費	0	3,000	0	0	50,000
事業活動支出計	550,000	517,000	320,000	400,000	3,510,000
事業活動収支差額	0	0	0	0	0
Ⅱ. 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
各種基金取崩収入	0	0	0	0	0
引当金戻入収入	0	0	0	0	0
発展事業資金戻入収入	0	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出					
各種基金取得支出	0	0	0	0	0
引当預金繰入支出	0	0	0	0	0
発展事業資金繰入支出	0	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0
Ⅲ. 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
Ⅳ. 予備費支出	0	0	0	0	0
当期収支差額	0	0	0	0	0
次期繰越金	0	0	0	0	0
収支差額	0	0	0	0	0

（単位:円）

400,000	444,000	465,000		6,081,000
中国	四国	九州	内部取引消去	合　　計
400,000	444,000	465,000	0	6,076,000
0	0	0	0	30,000
0	0	0	0	500,000
0	0	0	0	0
0	0	0	0	500,000
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
400,000	444,000	465,000	0	6,606,000
180,000	290,000	300,000	0	2,760,000
150,000	110,000	50,000	0	810,000
0	0	0	0	210,000
0	80,000	100,000	0	680,000
0	0	0	0	240,000
0	20,000	100,000	0	155,000
0	0	50,000	0	110,000
0	0	0	0	205,000
30,000	80,000	0	0	350,000
220,000	154,000	165,000	0	3,846,000
30,000	30,000	50,000	0	172,000
10,000	45,000	20,000	0	140,000
10,000	0	10,000	0	65,000
0	0	10,000	0	13,000
55,000	12,000	20,000	0	326,000
40,000	0	20,000	0	185,000
55,000	65,000	20,000	0	327,000
10,000	2,000	5,000	0	2,545,000
10,000	0	10,000	0	73,000
400,000	444,000	465,000	0	6,606,000
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

２０２１年度役員・委員等名簿

（２０２２年３月３１日現在）

注）氏名欄の「→」は、任期中の交代を示す。

（1）役員・代議員　　＊印：代表代議員

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
会長	田中孝司	KDDI	代議員	重岡知憲	NHK松山
次期会長	伊丹誠	東京理科大学	〃	篠田浩一	東京工業大学
副会長	齋藤英雄	慶應義塾大学	〃	島矢勝久	あいテレビ
〃	石橋豊	名古屋工業大学	〃	菅野勝	KDDI総合研究所
〃	岩城正和	NHK	〃	関口正巳	住友電気工業
〃	塩入聡	東北大学	〃	高田健司	北海道テレビ
編集長	佐藤真一	国立情報学研究所	〃	児野昭彦	NHK
総務担当	石井紀彦	NHK	〃＊	杜偉薇	京都工芸繊維大学
〃	川田亮一	KDDI総合研究所	〃＊	東海彰吾	福井大学
会計担当	星沢拓	日立LGデータストレージ	〃＊	新田直子	大阪大学
〃	志水信哉	NTT	〃	馬場口登	大阪大学
調査担当	佐藤誠	日本テレビ	〃	浜田宏一	帝京大学
〃	倉掛卓也	NHK	〃	福田雅哉	毎日放送
編集担当	洗井淳	NHK	〃	藤井俊彰	名古屋大学
〃	橋本直己	電気通信大学	〃	藤掛英夫	東北大学
企画担当	岩尾洋英	フジテレビ	〃＊	藤田玄	大阪電気通信大学
〃	徳田崇	東京工業大学	〃	藤原寛	NHK富山
監事	伊藤泰宏	NHK－ES	〃	船橋信彦	NHK
〃	出葉義治	LG Japan Lab	〃	本庄良哉	STVメディアセンター
代議員	秋田純一	金沢大学	〃	間瀬健二	名古屋大学
〃	新井啓之	日本工業大学	〃	松田一朗	東京理科大学
〃	安藤嘉高	NHK名古屋	〃	松野知宏	中国放送
〃	今井亨	NHK	〃	松本勝宏	NHK福岡
〃	大川祐二	NHK福岡	〃	三嶋英俊	三菱電機
〃＊	尾関孝史	福山大学	〃	三ッ峰秀樹	NHK
〃	角田貢	日本体育大学	〃	向井信彦	東京都市大学
〃＊	河村圭	KDDI総合研究所	〃	森享宏	TBSテレビ
〃	木村宗弘	長岡技術科学大学	〃	森住俊美	AGC
〃＊	小池崇文	法政大学	〃＊	森本雅和	兵庫県立大学
〃	小濱剛	近畿大学	〃	山﨑俊彦	東京大学
〃	斎藤恭一	NHK	〃	山田一人	法政大学
〃	佐野雅規	NHK	〃	吉見智文	NHK仙台

（2）テストチャート委員会

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
委員長	井口和久	NHK	委員	川田亮一	KDDI総合研究所
代表幹事	佐藤誠	日本テレビ	〃	橋本直己	電気通信大学事
委員	倉掛卓也	NHK	〃	岩鼻幸男	務局長

（3）映像情報メディア発展事業資金運営委員会

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
委員長	塩入聡	東北大学	委員	志水信哉	NTT
代表幹事	星沢拓	日立LGデータストレージ	〃	佐藤誠	日本テレビ
委員	川田亮一	KDDI総合研究所	〃	倉掛卓也	NHK

（4）広報委員会（WebIT 化委員会統合）

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
委員長	岩城正和	NHK	委員	川田亮一	KDDI総合研究所
代表幹事	岩尾洋英	フジテレビ	〃	徳田崇	東京工業大学

（5）国際連携委員会

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
委員長	岩尾洋英	フジテレビ	委員	石井紀彦	NHK
代表幹事	徳田崇	東京工業大学	〃	倉掛卓也	NHK

（６）長期計画検討委員会（学会活性化委員会統合）

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	滝　嶋　康　弘	ＫＤＤＩ総合研究所	幹　事	岩　尾　洋　英	フ　ジ　テ　レ　ビ
代表幹事	石　井　紀　彦	Ｎ　Ｈ　Ｋ	委　員	星　沢　　拓	日立LGデータストレージ

（７）代議員選挙委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	伊　藤　崇　之	ＮＨＫ－ＥＳ	委　員	本　間　康　文	ＴＢＳテレビ
委　員	会　津　昌　夫	リ　ア　ン	〃	岩　鼻　幸　男	事　務　局　長

（８）電気・情報関連学会連絡協議会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委　員	石　井　紀　彦	Ｎ　Ｈ　Ｋ	委　員	川　田　亮　一	ＫＤＤＩ総合研究所

（９）フェロー選定委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	岩　城　正　和	Ｎ　Ｈ　Ｋ	委　員	斎　藤　恭　一	Ｎ　Ｈ　Ｋ
副委員長	塩　入　　聡	東　北　大　学	〃	永　井　岳　大	東京工業大学
幹　事	川　田　亮　一	ＫＤＤＩ総合研究所	〃	新　井　啓　之	日本工業大学
委　員	杜　　偉　薇	京都工芸繊維大学	〃	名　手　久　貴	東京工芸大学
(代議員)	新　田　直　子	大　阪　大　学	〃	上　田　哲　三	パナソニック
〃	藤　田　　玄	大阪電気通信大学	〃	陶　山　史　朗	宇都宮大学
(研究委員会)	秋　田　純　一	金　沢　大　学	(ﾌｪﾛｰ)	菅　原　正　幸	Ｎ　Ｅ　Ｃ
〃	都　築　俊　満	Ｎ　Ｈ　Ｋ	〃	柳　原　広　昌	ＫＤＤＩ総合研究所
〃	町　田　賢　司	Ｎ　Ｈ　Ｋ			

(10) 名誉会員

氏　名	氏　名	氏　名	氏　名	氏　名
泉　　武　博	小野寺　　正	谷　本　正　幸	羽　鳥　光　俊	矢　野　　薫
伊　東　　晋	金　出　武　雄	永　井　研　二	羽　鳥　好　律	山　田　　宰
岩　崎　俊　一	久保田　啓　一	中　嶋　正　之	濱　崎　襄　二	山　本　英　雄
内　田　龍　男	沢　辺　栄　一	中　村　　宏	林　　宏　三	吉　野　武　彦
江　藤　良　純	末　松　安　晴	中　村　慶　久	原　島　　博	Carlos A.Paz de Araújo
榎　並　和　雅	関　　詳　行	西　澤　台　次	吹　抜　敬　彦	Om.P.khushu
大久保　　榮	髙　畑　文　雄	西　山　博　一	村　上　仁　己	
奥　田　友　彌	武　田　康　嗣	長谷川　　伸	森　尾　　稔	
小　沢　慎　治	谷　岡　健　吉	長谷川　豊　明	安　田　　浩	

(11) 北海道支部

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
支部長	高田　健司	北海道テレビ放送	運営委員	加藤　慎太郎	札幌テレビ放送
庶務幹事	瀧口　和輝	ＮＨＫ札幌	〃	樹山　英則	北海道テレビ
〃	森川　悟	北海道放送	〃	片野　友興	北海道文化放送
会計幹事	土橋　宜典	北海道大学	〃	佐々木　正巳	北海道科学大学
〃	高橋　康二	テレビ北海道	〃	青木　勇司	総務省北海道総合通信局
運営委員	藤井　大輔	ＮＨＫ札幌			

(12) 東北支部

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
支部長	藤掛　英夫	東北大学	運営委員	塩谷　達	ＮＨＫ仙台
庶務幹事	金　義鎭	東北学院大学	〃	芝田　正	東北放送
〃	松尾　英一	ＮＨＫ仙台	〃	嶌田　聡	日本大学
会計幹事	嵯峨　泉	仙台放送	〃	鈴木　辰彦	東北ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄ通信
〃	吉見　智文	ＮＨＫ仙台	〃	須田　拓也	秋田テレビ
運営委員	荒木　博和	東北総合通信局	〃	関　秀廣	八戸工業大学
〃	加藤　純雄	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾊﾟｰｿﾈﾙ	〃	高橋　勝徳	東日本放送
〃	加藤　毅	宮城テレビ放送	〃	原　秀行	岩手朝日テレビ
〃	木戸　博	東北工業大学	〃	星　宗宏	福島テレビ
〃	工藤　栄亮	東北工業大学	〃	峰田　敏行	山形放送
〃	黒田　理人	東北大学	〃	村岡　裕明	東北大学
〃	佐々木　徳昭	ＮＨＫ仙台	〃	山形　聡	青森テレビ
〃	塩入　諭	東北大学			

(13) 北陸支部

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
支部長	藤原　寛	ＮＨＫ富山	運営委員	長田　茂美	金沢工業大学
庶務幹事	東海　彰吾	福井大学	〃	大須賀　弘之	ＮＨＫ福井
〃	阿部　雅夫	ＮＨＫ金沢	〃	齋藤　健	ＮＴＴ西日本
会計幹事	吉高　淳夫	北陸先端科学技術大学院大学	〃	石林　雅之	北陸放送
〃	森田　栄	ＮＨＫ金沢	〃	柳原　伸司	富山テレビ
運営委員	高松　衛	富山大学	〃	山本　実	北日本放送
〃	秋田　純一	金沢大学	〃	大島　圭司	ＮＨＫ金沢
〃	吉田　俊之	福井大学	〃	辻合　秀一	富山大学

(14) 東海支部

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
支部長	近松　仁志	中京テレビ	運営委員	服部　敏秋	ＮＨＫ名古屋
庶務幹事	安藤　嘉高	ＮＨＫ名古屋	〃	佐藤　栄一	総務省東海総合通信局
〃	川原　洋平	総務省東海総合通信局	〃	塚田　敏彦	愛知工業大学
会計幹事	大日川　聡一	ＣＢＣテレビ	〃	都竹　愛一郎	名城大学
〃	久米　隆嗣	ＮＨＫ名古屋	〃	村田　博司	三重大学
運営委員	青木　徹	静岡大学	〃	広沢　二郎	テレビ愛知
〃	吉田　征彦	ＮＨＫ名古屋	〃	村田　実	名古屋テレビ
〃	石橋　豊	名古屋工業大学	〃	森　政勝	静岡放送
〃	服部　利春	日本ＣＡＴＶ技術協会	〃	間瀬　健二	名古屋大学
〃	臼井　正年	東海テレビ	〃	櫻井　正司	ＣＢＣテレビ
〃	木島　竜吾	岐阜大学	〃		

(15) 関西支部

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
支部長	桑原教彰	京都工芸繊維大学	運営委員	湯川　純	三菱電機
庶務幹事	杜　偉薇	京都工芸繊維大学	〃	村上文弘	ＮＨＫ大阪
〃	松井　繁	毎日放送	〃	山本真一郎	兵庫県立大学
会計幹事	森本雅和	兵庫県立大学	〃	加地靖男	テレビ大阪
〃	猪又憲治	三菱電機	〃	酒澤茂之	大阪工業大学
運営委員	冨吉　暎	シャープ	〃	塩崎光雄	パナソニック
〃	宮崎大介	大阪市立大学	〃	関口正巳	住友電気工業
〃	梅澤信司	総務省近畿総合通信局	〃	Siriaraya Panote	京都工芸繊維大学
〃	滝澤　亮	讀賣テレビ	〃	宮本伸一	和歌山大学
〃	並川　巌	関西テレビ	〃	福田雅哉	毎日放送
〃	玉木雅之	朝日放送	〃	新田直子	大阪大学
〃	藤田　玄	大阪電気通信大学			

(16) 中国支部

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
支部長	木村広幸	ＮＨＫ広島	運営委員	檜山欣成	テレビ新広島
庶務幹事	宮尾淳一	広島大学	〃	高橋　賢	広島市立大学
〃	神崎美雪	ＮＨＫ広島	〃	林田秋二	山口朝日放送
会計幹事	加藤雅也	広島テレビ	〃	佐原浩昭	ＲＳＫ山陽放送
〃	広瀬克昌	ＮＨＫ広島	〃	小平俊也	広島ホームテレビ
運営委員	高尾　忍	山陰中央テレビジョン放送	〃	山内　仁	岡山県立大学
〃	宗政幹彦	中国総合通信局	〃	鈴木健太郎	テレビ山口
〃	高橋秀明	日本海テレビジョン放送	〃	尾関孝史	福山大学
〃	徳永好一	NHKテクノロジーズ	〃	恵良勝治	山口放送
〃	松野知宏	中国放送	〃	有信進二	岡山放送
〃	道西博行	岡山理科大学	〃	秋山長夫	山陰放送

(17) 四国支部

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
支部長	奥浦孝彦	ＮＨＫ松山	運営委員	野中宏次	テレビ愛媛
庶務幹事	重岡知憲	ＮＨＫ松山	〃	島矢勝久	あいテレビ
〃	野中宏次	テレビ愛媛	〃	今西勝規	愛媛朝日テレビ
会計幹事	高木隆輔	ＮＨＫ松山	〃	松岡　茂	高知放送
運営委員	今西勝規	愛媛朝日テレビ	〃	横山雄一	テレビ高知
〃	中屋敷安則	総務省四国総合通信局	〃	積田　穣	高知さんさんテレビ
〃	岡本好弘	愛媛大学	〃	鳴滝智明	四国放送
〃	乗松義弘	南海放送	〃	岩井芳敏	西日本放送

(18) 九州支部

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
支部長	大川祐二	ＮＨＫ福岡	運営委員	嶋田豊秋	NHKテクノロジーズ
庶務幹事	松岡剛志	九州産業大学	〃	野久仁志	ＮＴＴ西日本
〃	大淵健児	ＮＨＫ福岡	〃	岡﨑浩幸	九州総合通信局
会計幹事	岩屋宏幸	テレビ西日本	〃	小山善文	熊本高等専門学校
〃	松本勝宏	ＮＨＫ福岡	〃	佐藤雄一	熊本放送
運営委員	井上光平	九州大学	〃	藤本孝文	長崎大学
〃	芹川聖一	九州工業大学	〃	松崎　功	長崎放送
〃	山下清海	ＲＫＢ毎日放送	〃	渡邊　睦	鹿児島大学
〃	坂井　剛	九州朝日放送	〃	小川重訓	南日本放送
〃	戸髙昭二	福岡放送	〃	春口　誠	宮崎放送
〃	小野晃生	ＴＶＱ九州放送	〃	後藤昌弘	大分放送

(19) 技術委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	伊東　晋	東京理科大学	委　員	野中雄一	日立
幹事長	滝嶋康弘	KDDI総合研究所	〃	篠原弘樹	パナソニック
幹　事	佐藤　誠	日本テレビ	〃	秋田純一	金沢大学
〃	倉掛卓也	NHK	〃	都築俊満	NHK
特別理事	塩入　諭	東北大学	〃	町田賢司	NHK
委　員	川田亮一	KDDI総合研究所	〃	斎藤恭一	NHK
〃	志水信哉	NTT	〃	永井岳大	東京工業大学
〃	橋本直己	電通大	〃	新井啓之	日本工業大学
〃	菅野　勝	KDDI総合研究所	〃	名手久貴	東京工芸大学
〃	児玉和也	国立情報学研究所	〃	上田哲三	パナソニック
〃	平林雅之	TBSテレビ	〃	陶山史朗	宇都宮大学
〃	金森聡史	NEC			

＜研究委員会＞

(20) 情報センシング研究委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	秋田純一	金沢大学	委　員	堺　俊克	NHK
副委員長	池辺将之	北海道大学	〃	前田健夫	SensAI
〃	廣瀬　裕	パナソニック	〃	杉山行信	浜松ホトニクス
幹　事	小室　孝	埼玉大学	〃	関根　寛	キヤノン
〃	下ノ村和弘	立命館大学	〃	樽木久征	東芝デバイス&ストレージ
〃	香川景一郎	静岡大学	〃	大澤雅人	オリンパスメディカルシステムズ
〃	徳田　嵩	東京工業大学	〃	大高俊徳	シーマイクロ
〃	黒田理人	東北大学	〃	藤澤大介	三菱電機
〃	北村和也	NHK	〃	栃木靖久	ソニーセミコンダクタソリューションズ
〃	山下雄一郎	TSMC	〃	西山　円	ニコン
〃	大倉俊介	立命館大学	〃	韓　相萬	ブリルニクスジャパン
〃	竹本良章	メムスコア	〃	安富啓太	静岡大学

(21) メディア工学研究委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	新井啓之	日本工業大学	委　員	曽我麻佐子	龍谷大学
副委員長	村松正吾	新潟大学	〃	五十川賢造	東芝
幹　事	望月貴裕	NHK	〃	入部百合絵	愛知県立大学
〃	東海彰吾	福井大学	〃	平野晃昭	関東学院大学
〃	田良島周平	NTTコミュニケーションズ	〃	細井利憲	NEC
委　員	石井大祐	富士通研究所	〃	堀　淳志	三菱電機
〃	片山美和	NHK	〃	人見康宣	ソニーセミコンダクタソリューションズ
〃	山野文子	コニカミノルタ	顧　問	春日正男	作新学院大学
〃	奥田正浩	北九州市立大学	〃	大塚作一	鹿児島大学
〃	金成　慧	宇都宮大学	〃	外村佳伸	龍谷大学
〃	多田昌裕	近畿大学	〃	貴家仁志	東京都立大学
〃	青木義満	慶應義塾大学	〃	上倉一人	東京工芸大学
〃	伊藤康一	東北大学	〃	吉田俊之	福井大学
〃	河村　圭	KDDI総合研究所	〃	村上和人	愛知県立大学
〃	渡邊　修	拓殖大学	〃	長谷山美紀	北海道大学
〃	小川貴弘	北海道大学	〃	田川憲男	東京都立大学

(22) マルチメディアストレージ研究委員会

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
委員長	町田賢司	NHK	委員	多田行伸	日立LGデータストレージ
幹事	武者敦史	富士フイルム	〃	関口通	NECネッツエスアイ
〃	吉村哲	秋田大学	〃	大竹充	横浜国立大学
〃	船橋信彦	NHK	〃	田中輝光	九州大学
〃	文仙正俊	福岡大学			

(23) 情報ディスプレイ研究委員会

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
委員長	都築敏満	NHK	委員	小村真一	ジャパンディスプレイ
副委員長	石鍋隆宏	東北大学	〃	佐藤進	
幹事	山北裕文	JOLED	〃	志賀智一	電気通信大学
〃	中村篤志	静岡大学	〃	清水貴央	NHK
〃	山口雅浩	東京工業大学	〃	下平美文	静岡大学
〃	吉田茂人	シャープ	〃	白松直樹	プール学院大学
〃	奥山健太郎	ジャパンディスプレイ	〃	鈴木幸治	東芝
〃	薄井武順	NHK	〃	鈴木睦三	日立
〃	長谷川拓哉	東北大学	〃	鈴木成嘉	メルク
〃	樋口昌芳	物質・材料研究機構	〃	陶山史朗	宇都宮大学
委員	木村宗弘	長岡技術科学大学	〃	関秀廣	八戸工業大学
〃	藤崎好英	NHK	〃	染谷潤	三菱電機
〃	別井圭一	日立	〃	平和樹	東芝
〃	奥田悟嵩	三菱電機	〃	高橋泰樹	工学院大学
〃	中嶋宜樹	NHK	〃	津村誠	日立
〃	足立昌哉	ジャパンディスプレイ	〃	時任静士	山形大学
〃	佐藤弘人	NHK	〃	冨井薫	
〃	沼尾孝次		〃	苗村省平	鳥取大学
〃	藤掛英夫	東北大学	〃	長瀬章裕	三菱電機
〃	小澤史朗	NTT	〃	中西洋一郎	静岡大学
〃	青木徹	静岡大学	〃	根尾陽一郎	静岡大学
〃	浅野敏郎	広島工業大学	〃	畑中義式	静岡大学
〃	石井啓二	NHK	〃	浜口拓也	大日本印刷
〃	伊藤剛	東芝	〃	平野芳邦	NHK
〃	茨木伸樹	産業技術総合研究所	〃	廣田昇一	新神戸電機
〃	上平員丈	神奈川工科大学	〃	福田一郎	金沢工業大学
〃	上村佐四郎	ノリタケカンパニーリミテド	〃	古橋勉	ジャパンディスプレイ
〃	後沢瑞芳	NHK	〃	松本隆幸	NECビュウテクノロジー
〃	内田龍男	仙台高等専門学校	〃	三上明義	金沢工業大学
〃	大沢通孝	工業所有権協力センター	〃	御子柴茂生	
〃	大観光徳	鳥取大学	〃	三橋哲雄	尚美学園大学
〃	岡林繁	名城大学	〃	宮下哲哉	東北工業大学
〃	奥田荘一郎	ニッタ	〃	村上由紀夫	NHK
〃	奥村治彦	東芝	〃	本山靖	NHK
〃	小栗康生	ダイヤリサーチマーテック	〃	山口隆夫	オプト・システム
〃	面谷信	東海大学	〃	山本敏裕	NHK
〃	蒲生秀典	凸版印刷	〃	分元博文	ジャパンディスプレイ
〃	窪田悟	成蹊大学	〃	大石巌	
〃	栗田泰市郎	NHK	顧問	小島健博	
〃	小林駿介	山口東京理科大学	〃	平島昭男	
〃	小林洋志	鳥取大学	〃	堀浩雄	
〃	小牧俊裕	パナソニック	〃		

(24) 放送技術研究委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	斎藤恭一	NHK	(無線光)	岡田実	奈良先端科学技術大学院大学
副委員長	村田英一	京都大学	〃	荻原秀治	日本電業工作
〃	斉藤一	テレビ東京	〃	金森聡史	NEC
幹事	神原浩平	NHK	〃	グアン チャイユー	長崎大学
〃	鈴村高幸	テレビ朝日	〃	齊藤一幸	千葉大学
〃	和泉田智志	日本テレビ	〃	関智弘	日本大学
〃	大内幹博	パナソニック	〃	田邊暁弘	NTT
〃	宮野真由子	東芝インフラシステムズ	〃	仲田樹広	日立国際電気
〃	水本哲弥	東京工業大学	〃	前田直樹	住友電気工業
委員			〃	松本卓三	古河電気工業
(放送・通信	糸原達彦	三菱電機	〃	丸山猛	古河電気工業
方式)	塩川茂樹	神奈川工科大学	(放送現業)	榎芳栄	TBSテレビ
〃	杉山賢二	成蹊大学	〃	小島敏裕	フジテレビ
〃	田中祥次	NHK	〃	小林俊満	名古屋テレビ
〃	筒井弘	北海道大学	〃	佐藤誠二	テレビ東京
〃	濵住啓之	東京工業高等専門学校	〃	滝澤亮	讀賣テレビ
〃	福留大貴	NHK	〃	津田貴生	NHK
			〃	當山俊一郎	日本テレビ

(25) 映像表現&コンピュータグラフィックス研究委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	名手久貴	東京工芸大学	委員	久保尋之	東海大学→千葉大学
幹事	岡市直人	NHK	〃	森谷友昭	東京電機大学
〃	田中賢一	長崎総合科学大学	〃	中山裕	朝日放送
〃	杉本志織	NTT	〃	三ッ峰秀樹	NHK
〃	Roberto Lopez-Gullier	立命館大学	〃	山口健	日本大学
委員	小黒久史	凸版印刷	顧問	小杉信	東京都市大学
〃	白石路雄	東邦大学	〃	佐藤甲癸	湘南工科大学
〃	檜山茂雄	多摩美術大学	〃	吉川浩	日本大学
〃	藤井祐佳	テレビ東京	〃	新谷幹夫	東邦大学
〃	田中敏光	名城大学	〃	高橋時市郎	東京電機大学
〃	竹内幸一	電気通信大学	〃	向井信彦	東京都市大学
〃	林正樹	ウプサラ大学			

(26) 立体映像技術研究委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	陶山史朗	宇都宮大学	幹事	藤井俊彰	名古屋大学
副委員長	掛谷英紀	筑波大学	〃	堀越力	湘南工科大学
幹事	上原伸一	AGC	〃	三科智之	NHK
〃	氏家弘裕	産業技術総合研究所	委員	山本健詞	徳島大学
〃	圓藤知博	長岡技術科学大学	〃	木村真治	NTTドコモ
〃	小池崇文	法政大学	〃	河北真宏	大阪工業大学
〃	髙木康博	東京農工大学	顧問	高橋秀也	大阪市立大学
〃	高田英明	長崎大学	〃	本田捷夫	本田ひかり技研
〃	堤公孝	NTT		奥井誠人	情報通信研究機構

(27) ヒューマンインフォメーション研究委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	永井岳大	東京工業大学	〃	原澤賢充	NHK
幹事	荻谷光晴	神奈川大学	〃	森川大輔	富山県立大学
〃	小濱剛	近畿大学			

(28) アントレプレナー・エンジニアリング研究委員会

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
委員長	上田哲三	パナソニック	委員	長畑隆也	ラピスセミコンダクタ
副委員長	金藤正直	法政大学	〃	中村裕一郎	目白大学
幹事長	山田一人	法政大学	〃	難波和秀	流通経済大学
幹事	石綿宏	フレッジテクノロジー	〃	末松千尋	京都大学
〃	都築五明	01高知ブースター	〃	本田新九郎	ＮＴＴ西日本
〃	善本哲夫	立命館大学	〃	平田貞代	芝浦工業大学
委員	石井正純	ＡＺＣＡ	〃	松本修一	日本ケーブルラボ
〃	江藤学	一橋大学	〃	山本忠幸	IChiKa総合研究所
〃	榎本之雄	日本コンテントオルガン	〃	横山孝文	毎日放送
〃	岡田剛史	岡田工事部	顧問	Richard B.Dasher	Stanford University
〃	長内厚	早稲田大学	〃	加納剛太	高知工科大学
〃	加賀有津子	大阪大学	〃	倉重光宏	高知工科大学
〃	春日正男	作新学院大学	〃	冨沢治	高知工科大学
〃	片山誠	住友電気工業	〃	平野真	福知山公立大学
〃	鈴木祐司	次世代メディア研究所	特別委員	樺澤哲	ｻﾝﾌﾞﾘｯｼﾞｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾍﾞﾝﾁｬｰｽﾞ
〃	田路則子	法政大学	〃	小川紘一	東京大学
〃	谷岡健吉	カイロス		Carlos Pazde Araujo	コロラド大学

(29) 冬季大会実行委員会

役名	氏名	勤務先	役名	氏名	勤務先
委員長	岩城正和	ＮＨＫ	委員	仲田樹広	日立国際電気
幹事	倉掛卓也	ＮＨＫ	〃	當山俊一郎	日本テレビ
〃	川田亮一	ＫＤＤＩ総合研究所	〃	神原浩平	ＮＨＫ
〃	徳田崇	東京工業大学	〃	荻谷光晴	神奈川大学
〃	志水信哉	ＮＴＴ	〃	田良島周平	NTTｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ
〃	橋本直己	電気通信大学	〃	五十川賢造	東芝
委員	堺俊克	ＮＨＫ	〃	岡市直人	ＮＨＫ
〃	薄井武順	ＮＨＫ	〃	石綿宏	フレッジテクノロジー
〃	船橋信彦	ＮＨＫ	〃	掛谷英紀	筑波大学
〃	田中祥次	放送衛星システム	〃		

(30) 編集委員会

役　名	氏　名	勤務先
編集長	佐藤真一	国立情報学研究所
副委員長	洗井淳	NHK
〃	橋本直己	電気通信大学
編集幹事	相田沙織	山口大学
(企画担当)	相羽英樹	JVCケンウッド
	伊地知大輝	総務省
	井須芳美	三菱電機
	泉政希	テレビ東京
	井ノ上直己	KDDI総合研究所
	内田慎	TBSテレビ
	越後富夫	大阪電気通信大学
	遠藤修二	テレビ朝日
	河合智行	富士フイルム
	河原邦彦	TVS REGZA
	久保田彰	中央大学
	小池崇文	法政大学
	神野英樹	NEC
	小島敏裕	フジテレビ
	小森智康	NHK
	笹川清隆	奈良先端大学院大
	佐々木幸久	NHK
	佐藤弘人	NHK
	白木厚司	千葉大学
	高木基宏	NTT
	張英夏	東京都市大学
	中條健	シャープ
	寺岡丈博	拓殖大学
	戸泉貴裕	NEC

役　名	氏　名	勤務先
編集幹事	永井岳大	東京工業大学
(企画担当)	中川孝之	NHK
	中島悠太	大阪大学
	長沼宏昌	ソニー
	樋口晴彦	日立
	間下以大	大阪大学
	松延徹	パナソニック
	森山剛	東京工芸大学
	山肩洋子	東京大学
	横山徹	日立
	渡部大志	埼玉工業大学
(海外文献部門)		
部門委員長	永井豊	電気通信大学
部門副委員長	西村仁志	KDDI総合研究所
部門委員	片野祐太郎	NHK
	鈴木聡志	NTT
	西辻崇	東京都立大学
	見上純一	TBSテレビ
	三沢天龍	三菱電機
	山本卓史	東芝インフラシステムズ
	涌波光喜	情報通信研究機構
(ニュース部門)		
部門委員長	浜田宏一	帝京大学
部門副委員長	中野信	日本テレビ
部門委員	新保豪平	NEC
	中塚智尋	KDDI総合研究所
	宮崎太郎	NHK

(31) 論文委員会

役　名	氏　名	勤務先
委員長	藤井俊彰	名古屋大学
アドバイザ	佐藤真一	国立情報学研究所
幹事	三ッ峰秀樹	NHK
委員	橋本直己	電気通信大学
	安藤慎吾	NTT
	河村圭	KDDI総合研究所
	大川裕司	NHK
（和文論文編集委員会）		
委員長	藤井俊彰	名古屋大学
副委員長	三ッ峰秀樹	NHK
〃	安藤慎吾	NTT
委員	青木啓史	NEC
	秋田純一	金沢大学
	圓道知博	長岡技術科学大学
	大竹充	横浜国立大学
	河村圭	KDDI総合研究所
	川本潤一郎	川崎医療福祉大
	京田文人	シリコンスタジオ
	久保尋之	東海大学→千葉大学
	櫻井将人	静岡理工科大学
	杉田純一	東京医療保健大学
	孫泳青	NTT
	田中賢一	長崎総合科学大学
	玉田靖明	北九州市立大学
	筒井弘	北海道大学
	德田崇	東京工業大学
	外山史	宇都宮大学
	中村篤志	静岡大学
	松村誠明	NTT
	室井哲彦	NHK
	本村玄一	NHK
	山田一人	法政大学
	吉森聖貴	日本文理大学
	渡邊修	拓殖大学

役　名	氏　名	勤務先
（英語論文編集委員会）		
委員長	藤井俊彰	名古屋大学
副委員長	河村圭	KDDI総合研究所
〃	大川裕司	NHK
委員	飯山将晃	京都大学
	伊丹誠	東京理科大学
	井手一郎	名古屋大学
	江上典文	近畿大学
	太田淳	奈良先端大学院大学
	小川貴弘	北海道大学
	掛谷英紀	筑波大学
	甲藤二郎	早稲田大学
	川人祥二	静岡大学
	酒澤茂之	大阪工業大学
	清水直樹	NHK－ES
	髙村誠之	NTT
	玉田靖明	北九州市立大学
	外村佳伸	龍谷大学
	新田直子	大阪大学
	橋本真幸	KDDI総合研究所
	長谷山美紀	北海道大学
	馬場口登	大阪大学
	人見康宣	ソニー
	三科智之	NHK
	美濃導彦	京都大学
	村田英一	京都大学
	柳原広昌	KDDI総合研究所
	山﨑俊彦	東京大学
	Nam Ik Cho	Seoul National University
	Alexamder G.Hauptmann	Carnegie Mellon University
	Benoit Huet	Eurecom
	Tae Kyoon Kim	ETRI
	Jianquan Liu	NEC
	Chong-Wah Ngo	City University of Hong Kong
	Antonio Ortega	University of Southern California
	Jong-Il Park	Hanyang University
	Georges Quenot	Laboratory of Informatics of Grenoble
	Stefan Rueger	The Open University
	Ming-Hsuan Yang	University of California, Merced

(31) 選奨委員会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
委員長	齋藤英雄	慶應義塾大学	委　員	菅野　勝	KDDI総合研究所
代表幹事	石井紀彦	NHK	〃	斉藤　一	テレビ東京
幹　事	佐藤真一	国立情報学研究所	〃	秋田純一	金沢大学
〃	川田亮一	KDDI総合研究所	〃	都築俊満	NHK
〃	星沢　拓	日立LGデータストレージ	〃	町田賢司	NHK
〃	志水信哉	NTT	〃	斎藤恭一	NHK
〃	佐藤　誠	日本テレビ	〃	永井岳大	東京工業大学
〃	倉掛卓也	NHK	〃	新井啓之	日本工業大学
〃	洗井　淳	NHK	〃	名手久貴	東京工芸大学
〃	橋本直己	電気通信大学	〃	上田哲三	パナソニック
〃	岩尾洋英	フジテレビ	〃	陶山史朗	宇都宮大学
〃	徳田　崇	東京工業大学			

(32)「技術振興賞」進歩開発賞選考専門部会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
部会長	菅野　勝	KDDI総合研究所	委　員	新井啓之	日本工業大学
代表幹事	佐藤　誠	日本テレビ	〃	名手久貴	東京工芸大学
幹　事	石井紀彦	NHK	〃	上田哲三	パナソニック
〃	川田亮一	KDDI総合研究所	〃	陶山史朗	宇都宮大学
委　員	居相直彦	NHK	〃	内田　慎	TBSテレビ
〃	斉藤　一	テレビ東京	〃	小島敏裕	フジテレビ
〃	倉掛卓也	NHK	〃	天野　徹	ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ
〃	徳田　崇	東京工業大学	〃	莪山真一	パイオニア
〃	関根　寛	キヤノン	〃	蝶野慶一	NEC
〃	都築俊満	NHK	〃	相羽英樹	JVCケンウッド
〃	町田賢司	NHK	〃	大西浩之	パナソニック
〃	グァン チャイユー	長崎大学	〃	山口裕司	日本テレビ
〃	筒井宏隆	名古屋テレビ	〃	宮﨑靖史	テレビ朝日
〃	福留大貴	NHK	〃	佐藤誠二	テレビ東京
〃	永井岳大	東京工業大学			

(33)「技術振興賞」コンテンツ技術賞選考専門部会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
部会長	斉藤　一	テレビ東京	委　員	大川祐二	NHK福岡
代表幹事	名手久貴	東京工芸大	〃	谷知紀英	讀賣テレビ
幹　事	志水信哉	NTT	〃	近松仁志	中京テレビ
〃	小島敏裕	フジテレビ	〃	栢分祐二	朝日放送テレビ
委　員	橋本直己	電気通信大学	〃	筒井宏隆	名古屋テレビ
〃	徳田　崇	東京工業大学	〃	立石正治	毎日放送
〃	津田貴生	NHK	〃	樋高裕治	RKB毎日放送
〃	藤原　徹	日本テレビ	〃	皆見清昭	テレビ大阪
〃	藤田和義	テレビ朝日	〃	天野景之	テレビ愛知
〃	榎　芳栄	TBSテレビ	〃	横山和明	関西テレビ
〃	田中圭介	テレビ東京	〃	臼井正年	東海テレビ
〃	岩尾洋英	フジテレビ	〃	武居裕之	日立国際電気
〃	村上文弘	NHK大阪	〃	宮　賢一	NEC

(34) 映像情報メディア未来賞選考専門部会

役　名	氏　名	勤務先	役　名	氏　名	勤務先
部会長	佐藤　誠	日本テレビ	委　員	都築　俊満	NHK
代表幹事	倉掛　卓也	NHK	〃	町田　賢司	NHK
幹　事	石井　紀彦	NHK	〃	斎藤　恭一	NHK
〃	川田　亮一	KDDI総合研究所	〃	永井　岳大	東京工業大学
委　員	星沢　拓	日立LGデータストレージ	〃	新井　啓之	日本工業大学
〃	洗井　淳	NHK	〃	名手　久貴	東京工芸大学
〃	橋本　直己	電気通信大学	〃	上田　哲三	パナソニック
〃	徳田　崇	東京工業大学	〃	陶山　史朗	宇都宮大学
〃	秋田　純一	金沢大学			

(35)「丹羽髙柳賞」功績賞・業績賞候補者選考投票委員（功・業）
同論文賞・鈴木記念奨励賞候補者投票委員（論・鈴）

役　名	氏　名	役　名	氏　名	役　名	氏　名
功・業、論・鈴	齋藤　英雄	功・業	会津　昌夫	論・鈴	相田　沙織
〃	石橋　豊	〃	青木　孝文	〃	相羽　英樹
〃	岩城　和	〃	池田　哲臣	〃	井須　芳美
〃	塩入　諭	〃	磯野　春雄	〃	泉　政希
〃	佐藤　一	〃	伊丹　圭誠	〃	伊地知　大輝
〃	石井　彦	〃	梅津　丈一	〃	井ノ上　直己
〃	川田　真拓	〃	浦野　吉治	〃	内田　慎
〃	星沢　紀剛	〃	大塚　幸道	〃	越後　夫
〃	志水　亮誠	〃	片柳　正夫	〃	遠藤　二
〃	佐藤　信也	〃	金子　一秀	〃	河合　行
〃	倉掛　卓淳	〃	上倉　啓人	〃	河原　彦
〃	洗井　直己	〃	川前　文治	〃	久保田　彰
〃	橋本　洋英	〃	香取　正志	〃	小池　文
〃	岩尾　泰崇	〃	岸野　一郎	〃	神野　樹
〃	德田　義宏	〃	小池　正淳	〃	小島　裕
〃	伊藤　治	〃	小柴　一則	〃	小森　康
〃	出葉　勝	〃	小林　正明	〃	笹川　隆
〃	菅野　一	〃	小宮　一三	〃	佐々木　久
〃	斉藤　晋	〃	杉田　豊	〃	佐藤　人
〃	伊東　也	〃	杉浦　明	〃	白木　司
〃	児玉　之	〃	杉本　実	〃	高木　宏
〃	平林　史	〃	関　行	〃	中条　健
〃	金森　一	〃	平田　樹	〃	張　夏
〃	野中　樹	〃	滝浦　弘	〃	寺岡　博
〃	篠原　一	〃	谷　吉	〃	戸泉　裕
〃	秋田　満	〃	谷崎　信	〃	中川　之
〃	都築　司	〃	谷　英	〃	中島　大
〃	町田　一	〃	都　郎	〃	長沼　昌
〃	斉藤　大	〃	寺内　一	〃	樋口　彦
〃	永井　寛	〃	中西　整	〃	間下　大
〃	新井　志	〃	長谷　輔	〃	松延　徹
〃	名手　彰	〃	平里　次	〃	森山　剛
〃	上田　幸	〃	藤　誠	〃	横　子
〃	陶山　彦	〃	松　治	〃	渡部　徹
〃	高橋　二	〃	三砂　志	〃	永井　志
〃	藤井　之	〃	村一　豊	〃	西村　信
〃	近藤　雅	〃	上雄　志	〃	中野　一
〃	桑原　則	〃	人	〃	浜田　彰
〃	木村　郎	〃		〃	藤井　樹
〃	奥浦　浩	〃		〃	三ッ峰　吾
〃	大川　吉	〃		〃	安藤　圭
〃	伊藤　司	〃		〃	河村　司
〃	榎本　郎	〃		〃	大川　浩
〃	尾高　浩	〃		〃	
〃	湯山　一	〃		〃	
〃	吉川　郎	〃		〃	